

秋田市商業振興ビジョン (商店街個別計画編)

平成19年 7 月

秋 田 市

秋田市商業振興ビジョン（商店街個別計画編） 目次

1	商店街個別計画編について	1
2	商店街個別計画書	
(1)	秋田市広小路商店街振興組合	5
(2)	秋田市中心通商店街振興組合	7
(3)	秋田市南通商店街振興組合	9
(4)	秋田市大町商店街振興組合	11
(5)	秋田市通町商店街振興組合	13
(6)	秋田市駅前広小路商店街振興組合	15
(7)	仲小路振興会	17
(8)	秋田市有楽町商栄会	19
(9)	川反外町振興会	21
(10)	馬口労町通り商工振興会	23
(11)	外旭川商工会	25
(12)	手形中央地区商店会	27
(13)	東通明田商工振興会	29
(14)	広面商工振興会	31
(15)	旭川地区商店会	33
(16)	桜・横森商工振興会	35
(17)	新屋商店会	37
(18)	牛島商店会	39
(19)	牛島商工振興会	41
(20)	仁井田地区商工振興会	43
(21)	大住地区商工振興会	45
(22)	土崎港中央通り商店会	47
(23)	土崎港元町商店会	49
(24)	土崎港北商店会	51
(25)	飯島商工振興会	53
(26)	柳町商店会	55
(27)	雄和新波商店会	57
3	商店街分布図	59

<資料編>

- 1 秋田市商業振興ビジョン策定委員会、専門部会委員名簿
- 2 秋田市商業振興ビジョン（商店街個別計画編）策定経過
- 3 商店街ヒアリングの概要について

商店街個別計画編について

1 ビジョンの構成と計画期間

本ビジョンの構成は、「本編」と「商店街個別計画編」の2部構成となっています。

「本編」では、社会環境や消費者ニーズの変化などに対応してその魅力を維持し、消費者の支持を得るための秋田市商業の方向性を検討することを目的として、第1章で秋田市を取り巻く環境を整理して現状を把握・分析し、第2章で秋田市商業の基本的な考え方や個店の方向性、商業エリアの方向性を示しました。

平成7年3月に策定した「秋田市中小小売商業活性化ビジョン」で計画した各商店街の事業には、計画策定時には予想もしなかった社会環境や立地環境などの急激な変化により、延期あるいは断念してしまったものがあります。その一因として、計画の定期的な見直しが行われてこなかったことが挙げられることから、「商店街個別計画編」では、商業者・商店街に対して、長期的な視点にもとづく事業計画の作成・実施およびその定期的な見直しの重要性を再認識してもらうとともに、積極的な取り組みの促進を目的として、各商店街が自ら作成した中長期事業計画等をまとめています。

本ビジョンの計画期間は、上位計画である「第11次秋田市総合計画」の全体計画期間である平成19年度から平成27年度と同一期間とします。

商業環境の変化は急速であることから、「本編」、「商店街個別計画編」ともに、3年ごとに内容を見直すこととしますが、「商店街個別計画編」については、著しい立地環境の変化や新規事業の実施などにより商店街が必要と判断した場合には、随時見直すものです。

2 商店街個別計画編の策定手順

商店街個別計画編の策定に当たり、秋田市商店街連盟に加盟している35商店街に対して予備調査、商店街実態調査等を実施し、各商店街の現状や課題、中長期事業計画等を把握するとともに、商店街個別計画策定の意思確認をしたところ、27商店街から策定するとの回答がありました。この27商店街が作成した商店街個別計画書を基に、事務局がヒアリングを行った後、専門部会等の助言に基づく必要な修正を行い、各商店街の総会等での決定、策定委員会での承認を経て、内容が確定されました。

今回商店街個別計画を策定しなかった8商店街については、各調査や説明会等において協議を重ねた結果、計画策定の趣旨・必要性については理解しつつも、「道路整備などにより生じる交通環境の変化が周辺の商業環

境にどの程度の影響を与えるか予想ができないため、中長期的な見通しを立てることができない」、「商店街内に多様な意見があり、意見集約が極めて困難である」、「商店街組織の活力低下等により、今後の共同事業等への展望が持てない」などといった各商店街の個別の事由により、計画の策定までには至らなかったものです。

なお、本市としては、今回個別計画を策定しなかった商店街が状況の変化等により計画を策定することが望ましいと考えています。

3 商店街個別計画書

商店街個別計画書は、各商店街が会員の総意に基づいて、自ら内容を策定したものです。

記載されている項目は、商店街ごとの「写真」、「周辺環境・街区状況」、「課題」、「基本方針（コンセプト）」、「事業計画」で、3～4ページに計画書の記載例と、記載項目の説明を掲載しています。

なお、商店街個別計画書の「事業計画」には、課題の克服や目指すべき方向性の実現のため、その実効性・実現性を勘案しつつ、商店街が自ら取り組むこととした事業について記載しています。ただし、行政が財政的支援やその実現を保証するものではありません。

商店街名： ○○○商店街振興組合

写真(例)



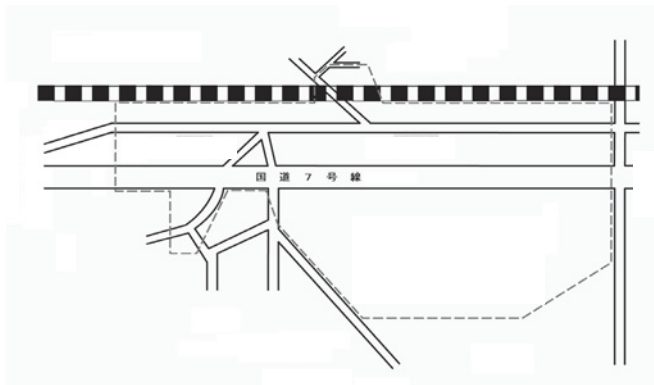
商店街のメインストリートやイベントの様子を掲載しています。

商店街およびその周辺の商業施設、公共公益施設等の立地状況や交通環境、最近の動向のほか、特記すべき環境等について記載しています。

周辺環境・街区状況（記載例）

街区は東西約〇kmで、近年、飲食店とマンションが増加しています。周辺には□□病院や大学があり、平日は通院・通学等により車、歩行者とも多くなっていますが、休日になると歩行者は激減してしまい、約〇割の店舗が休業している状況です。大型店など多くの商業施設が集積している△△地区の近隣であることから、厳しい競争下にあり、空き店舗が増加しています。

商店街地図（例）



商店街の街区を点線で示しています。

商店街が把握している街区内の店舗数、業種構成を記載しています。

業種構成（例）

街区内店舗数	50	店舗	(うち組合員数 42 店舗)							
業種構成	最寄品	19	買回品	7	飲食店	12	サービス	7	その他	5
業種構成(うち会員)	最寄品	18	買回品	7	飲食店	10	サービス	5	その他	2

(平成19年 4月 1日現在)

【業種分類（参考）】

最寄品	消費者が頻繁に手軽にほとんど比較しないで購入する商品（加工食品、家庭雑貨など）
買回品	色、形、材質、機能、サイズ、ブランド、デザインなどの面から、消費者が2つ以上の店舗を回り比較して購入する商品（ファッション関連、家具、家電など）
飲食店	日本標準産業分類における一般飲食店、遊興飲食店
サービス	日本標準産業分類におけるサービス業（他に分類されないもの）

課題(記載例)



商店街活性化のために克服すべき課題について記載しています。

- ・高齢者を中心とした馴染みの固定客はいるが、新規顧客を獲得できないこと。
- ・夜間営業の飲食店が多くなっており、日中の共同イベントの実施が難しいこと。
- ・集客の核となる大型店を会員とすること。
- ・来街者の滞在時間を延ばすための仕掛けを研究すること。

基本方針(コンセプト)
(記載例)



商店街の目指すべき方向性等について記載しています。

個店の魅力向上のために繁盛店づくりを行うとともに、来街者が楽しく快適な時間を過ごせる空間づくりに取り組みます。

具体的な方策



事業計画(記載例)

種類/期間	実績(H16～18年度)	前期(H19～21年度)	中期(H22～24年度)	後期(H25～27年度)
ハード系事業	・プランター設置 ・街路灯の修繕	・高齢者用休憩ベンチの設置 ・街路灯のあり方について検討	・住宅化したエリアの街路灯の防犯灯へのシフト	→
ソフト系事業	・商店街紹介ホームページ運営 ・歳末大売出し(12月)	・商店街の回遊性を高めるためのイベントについて検討	・商店街の回遊性を高めるためのイベントの実施	→
地域連携	・通学路の安全づくり、防犯活動への協力			→
組織強化	・会員獲得(特に大型店の加入)	・青年部、婦人部の設立		→
その他				



課題の克服や目指すべき方向性の実現のため、その実効性・実現性を勘案しつつ、商店街が自ら取り組むとした事業について記載しています。
ただし、行政が財政的支援やその実現を保証するものではありません。

商店街個別計画書

秋田市広小路商店街振興組合

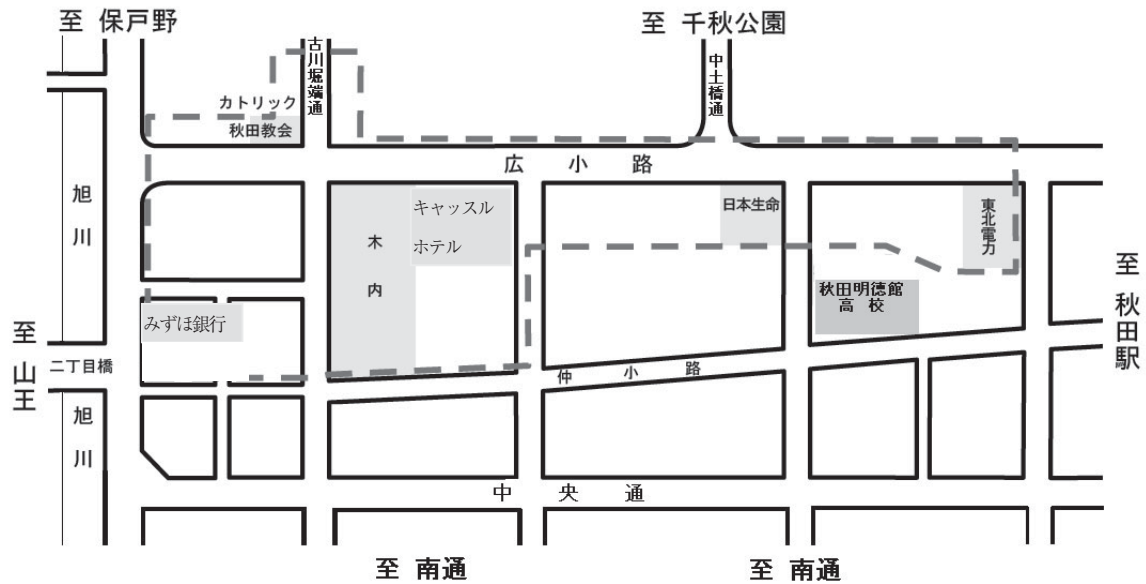


周辺環境・街区状況

昭和の終わり頃には、多くの大型店が立地し、買回品店を中心とした県内最大規模の商業集積を有していましたが、平成に入ると、大型店の閉店が相次ぎ、買回品の店舗は大きく減少してしまいました。しかしながら、現在も主な業種は、買回品店であり、最寄品店はありません。そのほか、ホテル、マンションなどが立地しています。

千秋公園周辺には、私立高校が2校、市立図書館、県民会館、県立美術館などがあり、周辺地域は多くの都市機能を有しています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	31	店舗	(うち組合員数 16 店舗)							
業種構成	最寄品	0	買回品	17	飲食店	2	サービス	5	その他	7
業種構成 (うち会員)	最寄品	0	買回品	9	飲食店	1	サービス	1	その他	5

(平成18年 6月 7日現在)

課題

- ・秋田中央道路自動車専用道路の開通が間近となっており、地域の交通環境が大きく変わることが予想されることから、その変化に対応した取り組み等について検討していく必要があります。
- ・アーケードは、老朽化により多額の修理費用を要する時期を迎えており、現状を維持することが大きな負担となっていることから、解体も視野に入れつつ、維持、管理方法等について検討していく必要があります。
- ・中通一丁目地区市街地再開発事業により、街区の商業環境は、大きく変化することが予想されることから、その動向に注視するとともに、集客力の低い中途半端なものとならないよう、各種提言をしていく必要があります。
- ・地価の下落により、各店舗の担保力が低下し、資金調達が困難になっているとともに、家賃価格を下げざるを得ないため、賃貸物件の商業施設としての活用への意欲が低下し、駐車場などの低未利用地や空き店舗の増加を招き、結果として、まちの賑わいが失われていること。

基本方針(コンセプト)

とにかく出来ることから、徹底的に取り組み、解決の糸口を掴み、一步でも現実の行動を進めていきます。

具体的な方策

事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業	・アーケードの維持、修繕	・アーケードの維持、修繕 ・これまで以上に安全、快適な歩行者空間の確立 ・アーケードの維持、解体の方向性確定 ・歩行者アメニティー施設の検討と建設	・アーケードの維持、解体の方向性確定後の歩行者空間の整備 ・歩道の無散水融雪化の検討 ・交通環境の変化に伴う短時間路面駐車帯の実現	
ソフト系事業	・集客事業「懐かしい映画のオリジナルポスター展」	・千秋公園お堀周辺のけやきのライティング、噴水等の水面のアトラクション事業	・イベント成果の分析と、更なる集客効果向上を目指した計画立案と実施	
地域連携		・中通一丁目地区市街地再開発事業への提言（商業、集客の核） ・小公園整備への協力（街区のポケットパーク、シンボルゾーンの形成など） ・千秋公園の観光資源化、お堀の水辺環境整備への積極的な関与		
組織強化	・空き店舗対策事業	・新規組合員の獲得と、商店街への進出希望者の誘導と支援（空き店舗対策）		
その他		・組合財政の健全な運用と収益を生み出せる構造の確立 ・短時間路面駐車帯の実現、駐輪禁止の見直しへの働きかけ ・一方通行の見直しに関する研究等		

平成４年頃から、会員の転出、廃業等が続き、空き店舗、空き地が目立つようになり、商店街が歯抜け状態になっています。呉服屋、ブティックなどの買回品の店舗や金融機関等のオフィスビルが多く立地していますが、最寄品を取り扱う店舗はありません。中通地区では、マンションの増加等により人口が増えています。

[illegible]

街区内 店舗数	43	店舗	(うち組合員数	12	店舗)					
業種構成	最寄品	0	買回品	18	飲食店	2	サービス	8	その他	15
業種構成 (うち会員)	最寄品	0	買回品	7	飲食店	1	サービス	0	その他	4

7

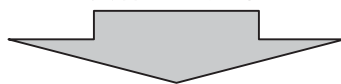
課題

- ・商店街関係者全員が共同意識を持ち、中心市街地の商店街としての役割や機能性をもっと強く再認識すること。
- ・地域住民の理解と協力を得ながら、商業として繁栄のできる環境づくりを行うこと（地域全体の信頼感と協調性）。
- ・車輛の通る広い道幅（20m）をどのように克服し、一体感のある街らしい雰囲気をつくるのか。

基本方針(コンセプト)

厳しい組合の財政事情を勘案し、まずは組合の存続・維持と商店街関係者の共同意識の保持に努めたうえで、豊かで便利なまちにするため、積極的な商店街活動に取り組んでいきます。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業		・街路灯全面整備（年次）		→
ソフト系事業	・秋田市中心通ふれあいまつり			→
地域連携	・商店街周辺の4町内会と連携			→
組織強化		・組合の人的組織の強化		→
その他	・駐車場の稼働率と収益向上	・自己資金の充実		→

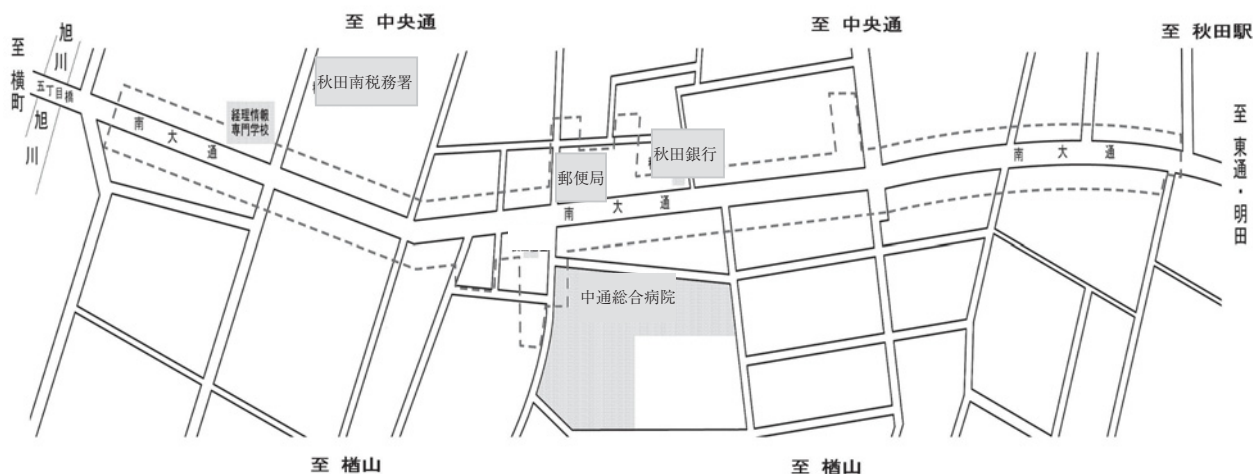
秋田市南通商店街振興組合



周辺環境・街区状況

街区は東西約1kmで、近年、夜型の飲食店とマンションが増加しています。周辺には総合病院・私立高校があり、平日は通院・通学等により車、歩行者とも多くなっていますが、休日になると歩行者は激減してしまい、約5割の店舗が休業している状況です。大型店など多くの商業施設が集積している秋田駅周辺地区の近隣であることから、厳しい競争下にあり、空き店舗が増加しています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	94	店舗	(うち組合員数 52 店舗)							
業種構成	最寄品	25	買回品	13	飲食店	22	サービス	16	その他	18
業種構成 (うち会員)	最寄品	18	買回品	9	飲食店	6	サービス	7	その他	12

(平成19年 2月28日現在)

課題

- ・ 会員の高齢化、後継者不足、廃業等により、組織としての活力が低下しているため、新たなイベント企画等が困難となっていること。
- ・ 高齢者を中心に固定客はいるものの、魅力ある店舗（集客力のある店舗）が無いため、新規顧客が増えないこと。
- ・ 最寄品店、買回品店が廃業して貸店舗となり、そこに夜型飲食店が入店するケースが増えていることから、街区内の業種構成に変化がみられること。

基本方針(コンセプト)

毎日多くの人々が行き交う場所（公共的空間）であることを再認識し、地域住民（特に高齢者）のために、消融雪歩道、電柱撤去などに続く共同施設の整備として、街路灯整備、休憩ベンチの設置の実現に向けて努力していきます。また、個々の店の特徴を活かし、細かいサービスやお客様との心のふれあいを大切にする商店街づくりに取り組みます。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業	・プランター設置（約70個）	・高齢者用休憩ベンチの設置事業	・街路灯設置について検討	→
		・プランターの植え込み作業（毎年5月）（H19は国体があるので早め）		→
ソフト系事業	・商店街紹介ホームページ運営 ・歳末大売出し（12月）	情報発信力を高めていく		→
				→
地域連携	・通学路の安全づくり事業（中通小安全ボランティア隊）			→
組織強化	・旧町内会別での懇親会 11日会 14日会 15日会			→
その他				

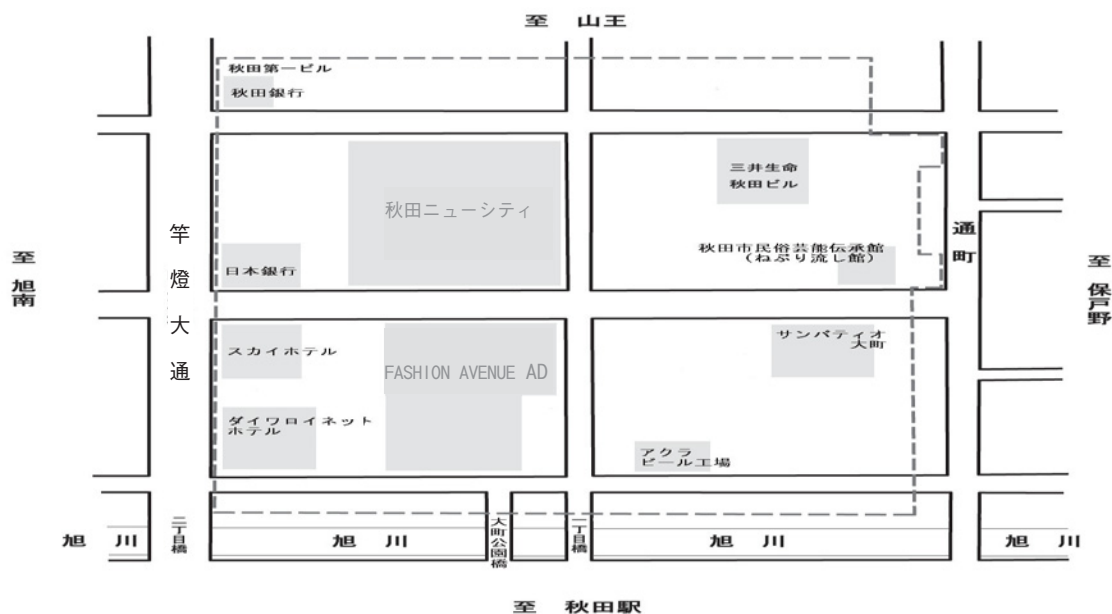
秋田市大町商店街振興組合



周辺環境・街区状況

戦前から商業地として栄えた街区であり、店舗や公共施設が入居する大型テナントビル、買回品などの専門店や飲食店などのほか、金融機関やホテル、観光施設が立地しています。また、街区に隣接する竿燈大通は竿燈まつりの会場となっているほか、通町とともにヤートセ秋田祭、ザ・パワー・オブ・ミュージック・フロム・アキタ（PMA）など多くの人が集まるイベントが開催されています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	101	店舗	(うち組合員数 60 店舗)							
業種構成	最寄品	10	買回品	48	飲食店	27	サービス	8	その他	8
業種構成 (うち会員)	最寄品	5	買回品	39	飲食店	11	サービス	5	その他	0

(平成19年 1月31日現在)

課題

- ・最寄品店（主にスーパー）への来店者の買回品店への波及効果不足。
- ・高齢者の来街に配慮した、安全性、快適性の向上。魁跡地に広場の早期設置。
- ・商店街組織への意識低下で活力が鈍化、また組合員の減少で組織の活力低下。

基本方針(コンセプト)

住宅街に接している当商店街では、来街の高齢者の方々に、やさしい商店街を目指していきます。そのため、安全で快適な環境の整備や新店舗誘致、創業者の支援、新たな人材の育成に取り組んでいきます。

具体的な方策



事業計画

種類/期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業	・魁跡地利活用ワークショップへの参加	・魁跡地利活用策の具体化に向けた検討 ・安全、快適な環境の整備		→
ソフト系事業	・イベントの開催 大町まつり トワイライトリレーコンサート 縁起獅子舞	・PRのためのホームページ作成等検討	・来街者増に向けた情報発信	→
地域連携	・通町と協力した会場提供等によるイベント開催支援 ヤートセ秋田祭 PMA（音楽祭）			→
組織強化		・会員増強 ・創業者、特に若い創業者への相談体制の整備検討	・「繁盛店」の誘致、育成	→
その他		・地域住民と組合員企業との結び付き強化のため、福祉、文化芸術、美化運動、青少年啓蒙などのボランティア活動等を実施 ・集客施設等の誘致活動		

秋田市通町商店街振興組合



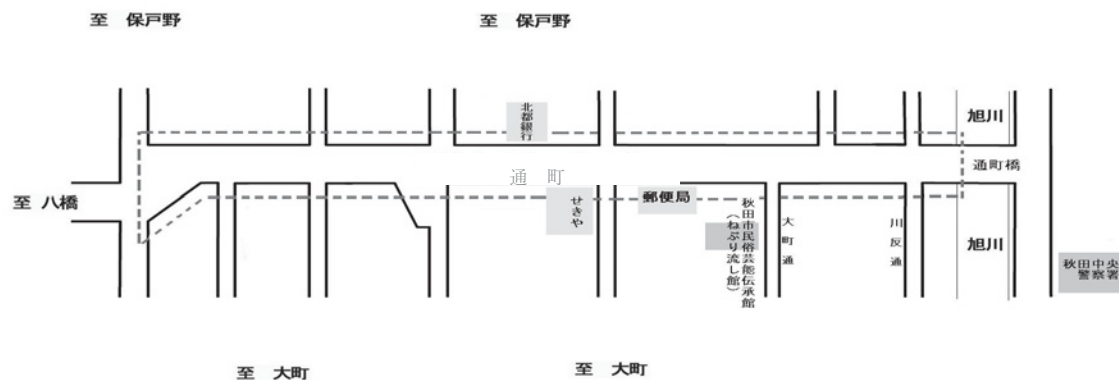
周辺環境・街区状況

商店街近代化事業等により整備された580mある街区には、食料品スーパーや書店、眼鏡店などの物販店のほか、銀行、郵便局、医院などが立地しています。

ホテルや金融機関、観光施設、大型商業ビル等が立地する大町商店街と隣接しており、周辺は住宅地となっています。近年、マンションが増加しファミリー層などの新たな客層が増えつつありますが、街区周辺である保戸野、千秋、大町地区全体の人口は減少しています。

秋田駅発着のバス路線となっており、交通の便は良いといえます。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	73	店舗	(うち組合員数		49	店舗)				
業種構成	最寄品	18	買回品	20	飲食店	7	サービス	11	その他	17
業種構成 (うち会員)	最寄品	17	買回品	15	飲食店	2	サービス	4	その他	11

(平成19年 2月15日現在)

課題

- ・アパート、マンション等の住宅も立地するなど、一部のエリアで商店の連担性に欠けていること。
- ・業種に偏りがあること。
- ・物販店以外の業種の会員獲得。
- ・業種によってイベント等への協力、参加意識に温度差があること。
- ・共通駐車場やコミュニティ空間（施設）、放送設備を有していないこと。

基本方針(コンセプト)

久保田城下の商人町として栄えた歴史と文化のある商店街として、賑わいがあり、地域住民に真に親しまれるコミュニティ性の高い「おらが街の商店街」を目指します。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業		・共同駐車場、放送設備の設置を検討		
ソフト系事業	・イベント（通の市、草市、歳末大売出し、狐の行列）の実施	・商店街マップ（一店逸品の開発紹介）作成 ・通町商店街独自の商品券発行について検討 ・個店の診断事業（販促、魅力向上） ・高齢者向けサービス（宅配）事業の検討 ・テナントミックス事業		→
地域連携		・大町商店街（特にサンパティオ大町）との連携		
組織強化		・会員の増強（若手など組織の活性化に寄与する人材） ・女性（婦人）部の結成		→
その他	・C I「とおoryんせ通の街」 ・接客研修の開催			→

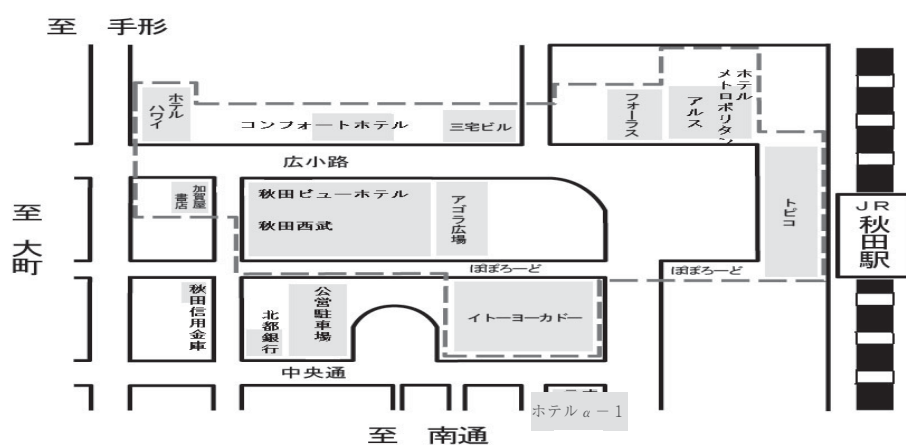
秋田市駅前広小路商店街振興組合



周辺環境・街区状況

南北約 400mの街区には、駅ビル、専門店ビル、百貨店、総合スーパーなどの大型商業施設が立地しており、買回品店を中心に多種多様な業種の店舗が集積しており、最近では、飲食店や有料駐車場・金融サービス業が増加しています。周辺には、中小規模の事務所ビルや学校、マンション、病院、千秋公園などがあり、秋田駅周辺地域は、県内最大の都市機能の集積があります。また、J R秋田駅を利用した通勤、通学客が多く、最近では、ビジネスホテルの増加により、観光・ビジネス客も増加しています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	400	店舗	(うち組合員数 20店舗)							
業種構成	最寄品	5	買回品	325	飲食店	50	サービス	15	その他	5
業種構成 (うち会員)	最寄品	3	買回品	7	飲食店	1	サービス	5	その他	4

(平成19年 2月28日現在)

※ 街区内に立地する百貨店、専門店ビル等に入居しているテナントは、組合に加入していないが、百貨店、専門店ビル等は組合に加入しており、テナント等もイベントなどの組合活動に協力している。(テナント数約 345 店舗)

課題

- ・高齢者などの固定客は多いものの、通勤者などからの新規顧客の開拓に課題を残していること。
- ・組合員に大型店が多く、それらの店舗においては、個々に強力な販促活動を行っているものの、組合全体としての活動は難しい状況にあること。
- ・ビルに入居しているテナント全てを組合に入会させるのは難しいこと。
- ・個々の店舗では行われているが、エリアとしての情報発信が不足していること（商店街ホームページを活用しての店舗情報、駐車場案内等）。

基本方針(コンセプト)

「緑と、出会いと、ふれあい」をスローガンにまちづくりを推進している当組合では、消費者へのPRと組合員同士の連携強化を図るため、毎年7月下旬に実施している「ふるさと秋田・駅前カーニバル」を伝統行事として今後も継続して実施し、クリーンな商店街づくりのため、今後も定期的な清掃活動に取り組んでいく方針です。

具体的な方策



事業計画

種類/期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業				
ソフト系事業	・ふるさと秋田駅前カーニバル ・春の駅前フェスティバル（買い廻り抽選会）			→
地域連携				
組織強化	・大型店と連携したイベントの実施、商店街クリーン活動（駅前周辺エリアのイメージ向上と会員間の融和、一体感の醸成）			→
その他		・エリアの情報発信の手法について検討		→

仲小路振興会



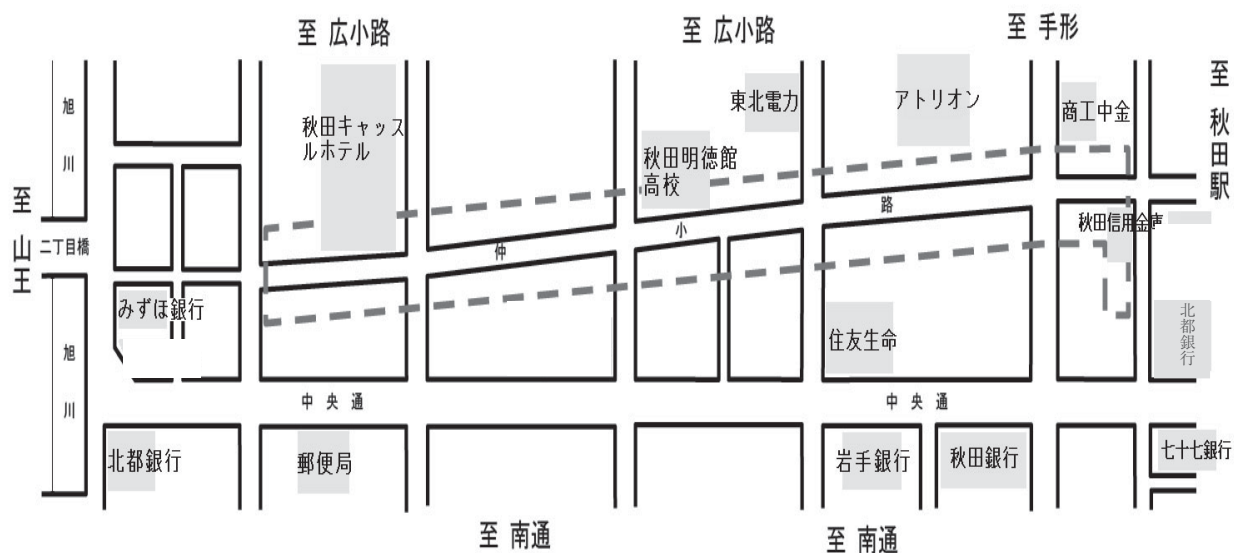
周辺環境・街区状況

約 600mある街区には、低・未利用地や事務所ビル、公共公益施設等が多く、商業施設は一部のエリアを除いて連担性に欠けています。

通行量は、秋田中央道路中央街区出入口付近は約 30%も減少していますが、明徳館高校の開校やメディカルモールの整備等により、アトリオン付近は増加しています。

隣接地域には、ホテルが多く立地しており、ビジネス・観光の拠点となっています。また、千秋公園の周辺には、県立美術館、市立図書館、県民会館、私立高校などの文教施設が多く立地しています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	－	店舗	(うち組合員数 4 2 店舗)							
業種構成	最寄品	0	買回品	19	飲食店	12	サービス	－	その他	－
業種構成 (うち会員)	最寄品	0	買回品	19	飲食店	10	サービス	8	その他	5

(平成19年 4月 1日現在)

課題

- ・事業所ビルや低・未利用地が多く商業施設の連担性に欠けるとともに、路面店に物販店が少ないため、街としての魅力に欠けていること。
- ・会員が点在しているため、商店街活動に一体感が生まれにくい状況であること。
- ・各種イベントにおいて、地元学生やボランティアを上手く活用しきれていないこと。
- ・千秋公園やその周辺の文教施設、秋田市民市場、明徳館高校など周辺の集客施設との連携。
- ・竿燈まつりや国体などに合わせたイベント等の実施。

基本方針(コンセプト)

「木もれ陽のまちふれあい通り仲小路」をテーマとして、個々の店舗の特徴を活かしたきめ細やかなサービスを提供するとともに、イベント等での人と人とのふれあいを大切にした商店街づくりに取り組みます。また、千秋公園などの地域資源や美術館などの文教施設を活用した歴史、文化の息づく空間づくりを目指します。

具体的な方策



事業計画

種類/期間	実績 (H16～18年度)	前期 (H19～21年度)	中期 (H22～24年度)	後期 (H25～27年度)
ハード系事業		・マップ作成に伴う案内等の設置を検討	・未定	・未定
ソフト系事業	・カジュアルアートフェスタ	・地元固有の地域資源を抽出した商店街マップの作成を検討	・商店街ホームページの作成について検討	・未定
	・竿燈まつりに合わせたイベントの実施			
	・ハロウィンパレード			
地域連携	・地元高校生やボランティアの参加によるイベント開催や学校祭への協力	・地元高校生および近隣商店街との連携によるイベントの拡大 ・秋田市民市場との連携	・未定	・未定
組織強化	・有志による女性の会結成→イベント企画、実行	・女性の会の会員増強 (協賛会員を含む)	・未定	・未定
その他	・女性の会主催の各種カルチャー講習会実施			

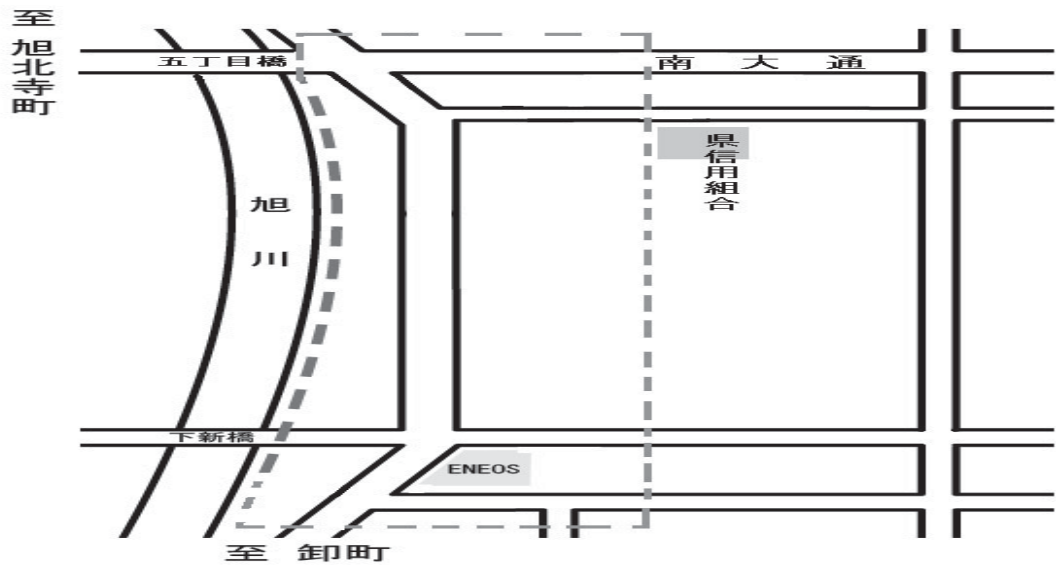
秋田市有楽町商栄会



周辺環境・街区状況

昔芝居小屋等のあった、「秋田の有楽町」と呼ばれてきた古くからの繁華街ですが、かつて集客力の核であった映画館は、現在週１～３日のみ営業しているものが１軒だけとなり、街区にはあまり利用されていない駐車場が目立つようになっています。店舗構成は約半数が飲食店となっています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	45	店舗	(うち組合員数39 店舗)							
業種構成	最寄品	8	買回品	5	飲食店	25	サービス	4	その他	3
業種構成 (うち会員)	最寄品	8	買回品	5	飲食店	19	サービス	4	その他	3

(平成19年3月31日現在)

課題

・商店街の空洞化が顕著になり、人通りも減少しています。また、同時に会員の減少により、組織力が低下し、集客力のある商店街独自のイベントの実施が困難な状況で、会の存続自体も危惧されています。

基本方針(コンセプト)

空洞化で近郊の住宅街の高齢者は買い物等に不便を強いられており、困窮している消費者等に的をしぼり、事業を展開していきます。過去に実施した事業のうち実施要望の強い顧客向け日帰り旅行招待などの事業は引き続き極力実施していきたいと考えています。また、一部商店で、店先を利用したミニショップを継続実施しており、好評を得ていることから本格的に取り組むことを検討していきます。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業	・街路灯維持管理	・空き店舗を利用した共同売店検討実施 ・託児所との連携（空き店舗）		→
ソフト系事業				
地域連携	・顧客向け日帰りの旅招待 ・有楽町の日実施			→
組織強化	・新会員募集			→
その他	・歩道危険箇所点検	・会の存続も含めて組織編成を再検討		

街区内には、和・洋・中華料理店、すし店、料亭、居酒屋、キャバレー、スナックなど多種多様な飲食店が集積しており、飲食店が立地するエリアは年々拡大しています。周辺には、宴会部門を備えたものや宿泊専門、温泉施設のあるものなど多種多様なホテルが多く立地しており、秋田駅周辺と並ぶ観光ビジネスの拠点となっています。商業施設としては、中央公民館が入っている大型商業ビルやブランド品などの専門店ビルがあり、その他に、金融機関等の事務所、高層マンション、秋田民俗芸能伝承館（ねぶり流し館）などが立地しています。

[illegible]

街区内 店舗数	約900	店舗	(うち組合員数 100店舗)							
業種構成	最寄品	約50	買回品	0	飲食店	約750	サービス	約50	その他	約50
業種構成 (うち会員)	最寄品	0	買回品	0	飲食店	90	サービス	5	その他	5

21

課題

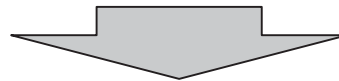
- ・歩行者の交通安全と快適性の向上。
- ・観光ビジネス客などの新たな顧客の開拓や固定客などのリピーター率向上。
- ・エリア情報の発信（個別情報、地域イベントやクーポン発行）。
- ・競合エリアとの差別化（川反らしさ、魅力の向上）。
- ・従業員のさらなる接客向上。
- ・旭川の景観の活用。

基本方針(コンセプト)

東北有数の繁華街として来街者の交通安全や楽しく快適な時間を過ごせる空間としての機能を高めるとともに、夜の観光スポットとしての魅力も高めていきます。

コンベンション協会と連携した取り組みなどにより誘客を図り、市内客はもとより観光ビジネス客の新規顧客開拓に努めます。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業		・街路灯整備事業	→	
ソフト系事業	（・商店街ホームページ、QRコードを活用した携帯電話サイトの開設 ・キープグリーンキャンペーン事業 ・ドリンクラリー ・富くじまつり）	・商店街ホームページの運営	→	→
地域連携		・旭川の景観事業に協力	→	→
組織強化		・横町、大町、すすらん各商店街との連携強化	→	→
その他		・地域振興アドバイザー派遣事業を活用した川反振興策の検討（計画策定） ・近隣ホテルとの連携	・川反振興計画に基づく事業の実施	→

馬口労町通り商工振興会

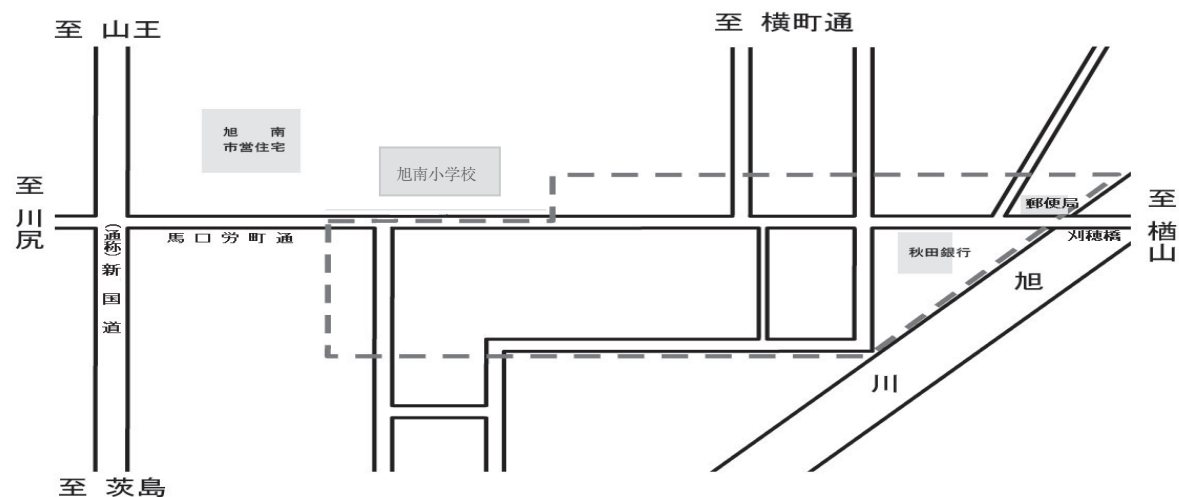


周辺環境・街区状況

街区内の道路は一方通行が多いほか、道幅が狭く歩道もないため、車社会には十分に対応しているとはいえませんが、商店街としての一体感が強く、街区内地舗はすべて会員となっています。集客の核としては、銀行や郵便局、菓子店などがありますが、近隣には大型スーパーが3店舗あり、特に品揃え等により差別化が図られている一部の小売業以外はその影響を強く受けています。

また、年1回伝統行事である草市を開催しており、当日は多くの人でにぎわいます。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	26	店舗	(うち組合員数 26 店舗)							
業種構成	最寄品	10	買回品	5	飲食店	0	サービス	3	その他	8
業種構成 (うち会員)	最寄品	10	買回品	5	飲食店	0	サービス	3	その他	8

(平成19年 3月31日現在)

課題

- ・昔ながらの高齢者の固定客はいますが、新規客の利用者が少ない状況です。
- ・若手会員がいないため、組織としての活力が低下しています。
- ・昨年、近くにスーパーがオープンした影響により、小売業などの売上が減少しています。

基本方針(コンセプト)

当会では一年に1回ではありますが8月12日（お盆の前日）に歴史と伝統のある草市を会員一同全力で実施しており、これを継続していかなければいけません。また、この草市をメインのイベントとして新規顧客の開拓を目指すとともに、今後は定期的な集客力のあるイベントの開催についても検討していきます。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業				
ソフト系事業	・草市の開催	・他町村のJAや生産者と交渉し、草市開催時に野菜等産地直売などを実施して魅力アップを図る。		
地域連携		・草市開催時の道路状況について、今後スーパーとの話し合いの場を持ち協力を促す。		
組織強化				
その他		・草市に多くの生産者に参加してもらえようPR方法等を改善する。		

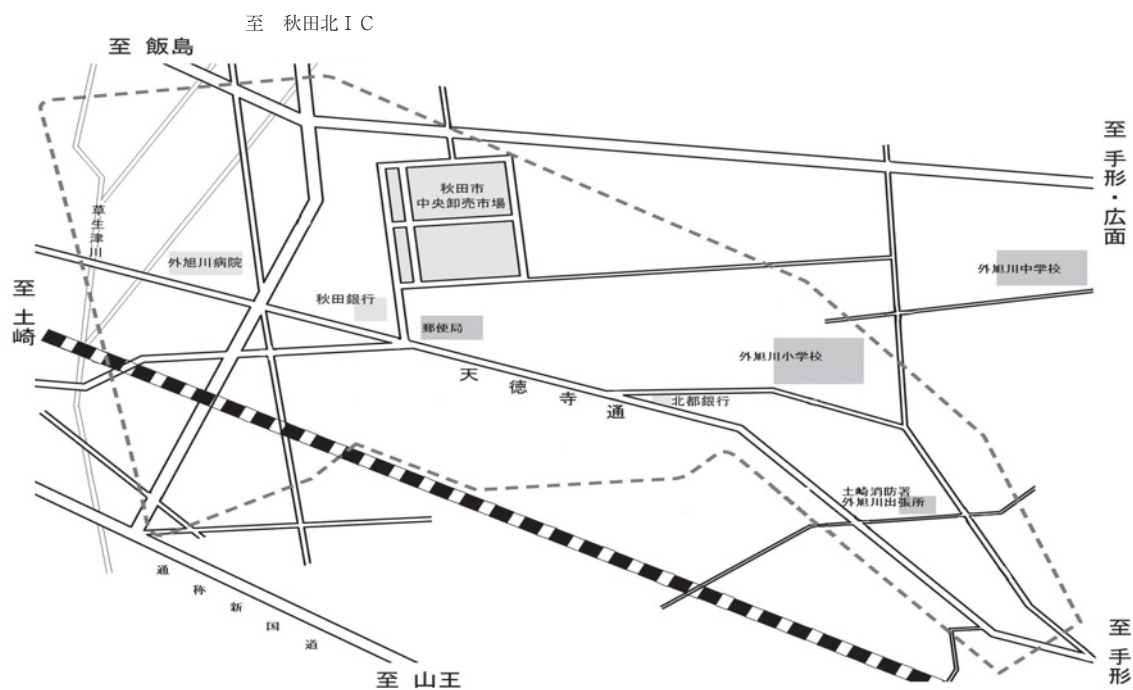
外旭川商工会



周辺環境・街区状況

天徳寺通、秋田北 IC バイパス沿いに食料品スーパー、ホームセンターなどの大型店が多く立地しており、車での来街が中心となっています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	約 100 店舗		(うち組合員数		48店舗)					
業種構成	最寄品	—	買回品	—	飲食店	—	サービス	—	その他	—
業種構成 (うち会員)	最寄品	3	買回品	1	飲食店	1	サービス	5	その他	38

(平成19年 3月30日現在)

課題

- ・ 会員の高齢化による組織活動の低下。
- ・ 会員増強。

基本方針(コンセプト)

地域内の各団体等と連携を図りながら、地域に貢献する商工会を目指します。

具体的な方策

事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業				
ソフト系事業	・ 商店街マップの更新		・ 商店街マップの更新	
地域連携	・ 地域団体、小中学校等への貢献（地域のグラウンドへのベンチの寄贈、小中学生への図書カード寄贈）	・ 地元、幼、小、中学校と連携した事業の実施（内容未定）		→
組織強化	・ 会員増強			→
その他				

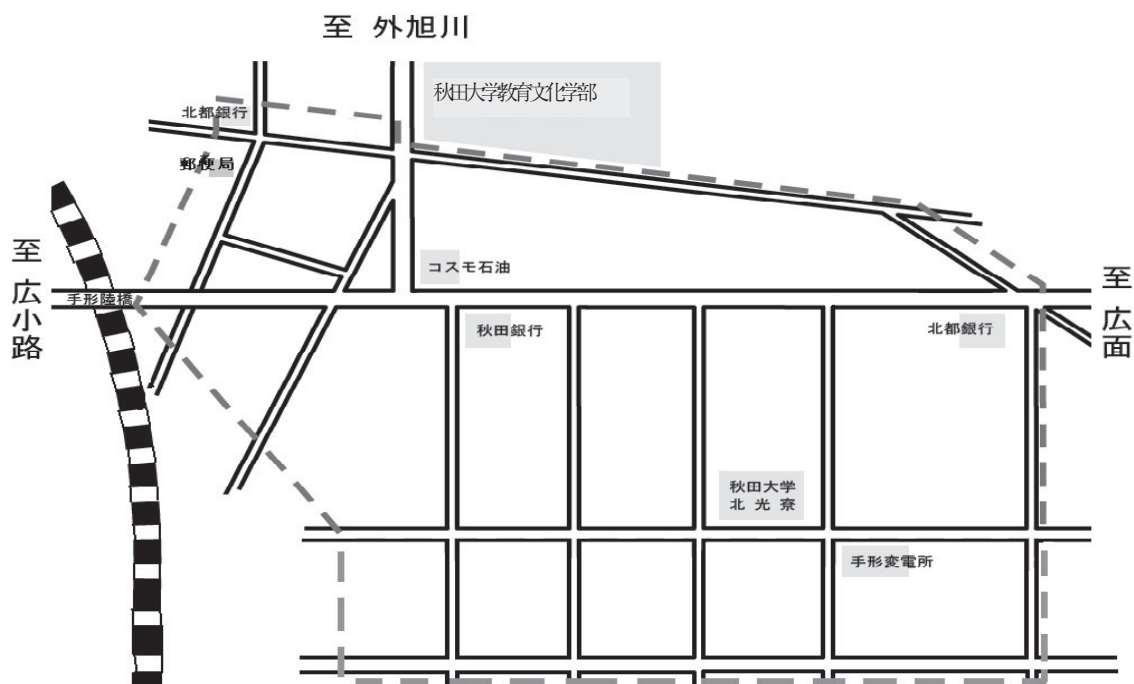
手形中央地区商店会



周辺環境・街区状況

秋田大学が近くにあることから、周辺に広がっている住宅地には、アパート、マンションなどが多くなっています。メインストリートとなっている手形山崎では、交通量が多く、通勤等により朝夕は渋滞しています。廃業、撤退等により最寄品店は減少傾向にあり、空き店舗も増加しています。また、夜間営業の飲食店が多いことから、特に、日中はシャッターを下ろしている店舗が目立っています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	－	店舗	(うち組合員数 35 店舗)							
業種構成	最寄品	－	買回品	－	飲食店	－	サービス	－	その他	－
業種構成 (うち会員)	最寄品	2	買回品	0	飲食店	17	サービス	11	その他	5

(平成19年 4月 1日現在)

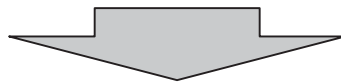
課題

- ・ 周辺の秋大生などの若者から新規顧客を開拓すること。
- ・ 各店舗において、環境の変化や消費者ニーズに対応した取り組みを行うこと。
- ・ 店舗の狭さ、老朽化、駐車場不足等。
- ・ 商店街活動に対して温度差があるため、組織活動に一体感がないこと。
- ・ 周辺の交通環境に対応した取り組みを行うこと。

基本方針(コンセプト)

秋田大学に隣接するエリアとして、学生など若者と連携した取り組みにより、「学園のまちの商店街」というイメージづくりを行うことで活性化を図るとともに、高齢化に対応した取り組みも行い、高齢者に優しい商店街を目指します。

具体的な方策



事業計画

種類/期間	実績 (H16～18年度)	前期 (H19～21年度)	中期 (H22～24年度)	後期 (H25～27年度)
ハード系事業				
ソフト系事業	・ コンサルによる商店街診断、助言 (テーマ：商店街の活性化)	→		
地域連携		・ 大学、町内会との会合	→	→
組織強化	・ ノウハウを有する人材の確保	・ やる気のある新規会員の獲得 (特に若手)	→	→
その他	・ 空き店舗対策 ・ 先進地視察 (中国大連市ほか)			→

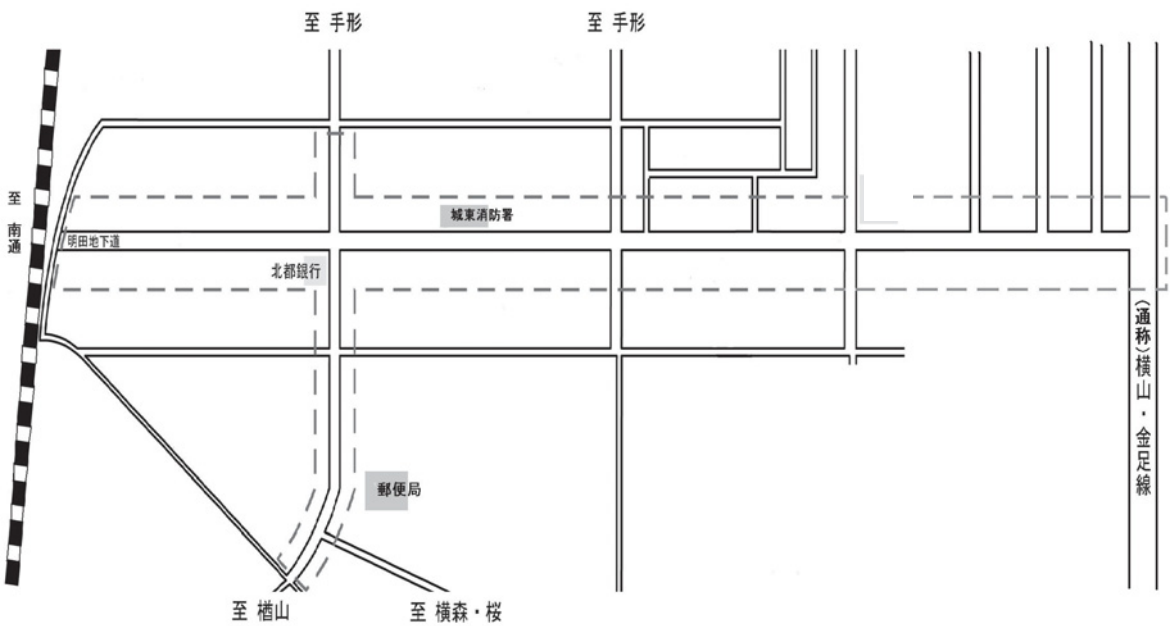
東通明田商工振興会



周辺環境・街区状況

大型食料品スーパー、医院、美容院、若者向けレストラン、レンタルビデオ店、古本屋など様々な業種業態の店舗が立地しています。昔から商店街を形成しているエリアへは、街区内部から自転車、徒歩で来街する人が多くなっています。ロードサイド店が集積しているエリアへは、車での来街が多く、街区内部のみならず周辺地域からも多くの人が来街します。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	98	店舗	(うち組合員数 24 店舗)							
業種構成	最寄品	7	買回品	3	飲食店	21	サービス	62	その他	5
業種構成 (うち会員)	最寄品	2	買回品	0	飲食店	0	サービス	10	その他	12

(平成19年 3月 1日現在)

課題

- ・昔から商店街を形成しているエリアでは、組合員の高齢化、廃業により会員数が減少していることから、会員増強による組織強化が課題となっています。
- ・ロードサイド店が集積するエリアでは、ほとんどの店舗が非会員であるため、新規加入を促す必要があります。
- ・魅力ある商店街づくりのためには、現会員の更なる積極的な取り組みが必要と考えます。

基本方針(コンセプト)

会員増強により組織強化を図るとともに、通りに愛称をつけるなどで街区に統一イメージを持たせ、魅力ある商店街づくりをしていきます。

具体的な方策

事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業		・街路灯の再整備	・検討中	・検討中
ソフト系事業	・地区盆踊り大会の開催			→
地域連携	〔・地区連合町内会との連携 ・東通竿燈会への協賛〕			→
組織強化	・エリアの拡大（名称を「東通明田商工振興会」へ改称）	・新規会員の獲得		→
その他				

広面商工振興会

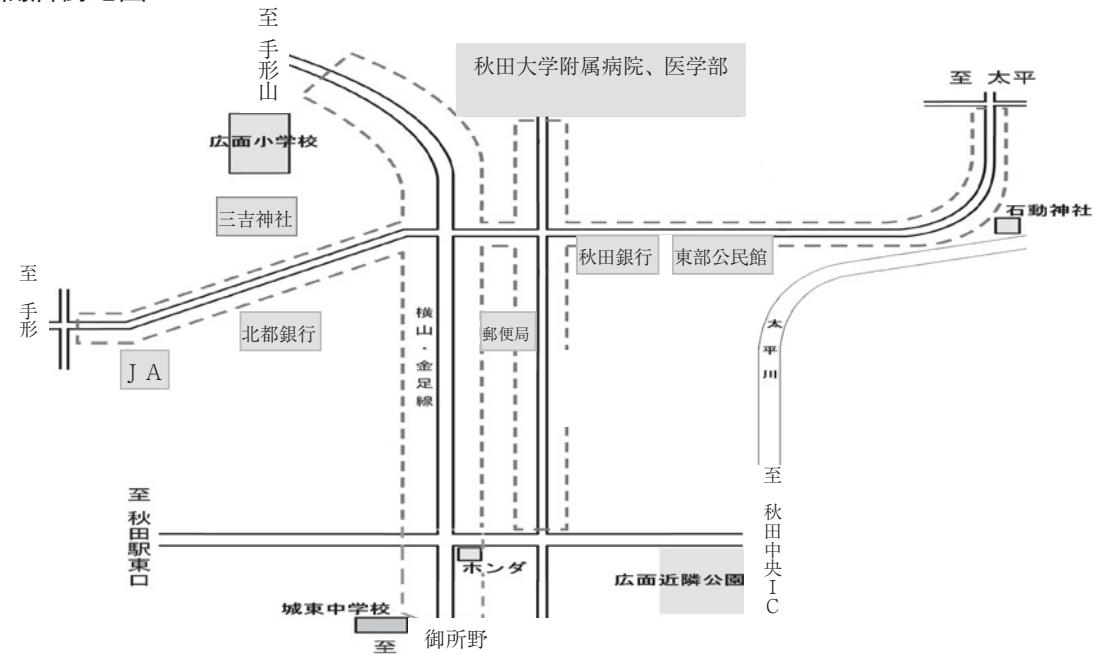


周辺環境・街区状況

広面昼寝付近から秋田大学附属病院周辺を中心に結成された商工振興会で、近年、通称横山金足線沿いまで街区が拡大しています。

通称横山金足線沿いには、ロードサイド型の大型食料品スーパー、専門店等があり、自動車による来客が多くなっています。昔からの商店街エリアでは、大型食料品スーパーが撤退するなど、最寄品店は減少傾向にあります。また、このエリアでは、医院や農協が集客の核となっており、主な来街者は高齢者となっています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	120	店舗	(うち組合員数 58 店舗)							
業種構成	最寄品	55	買回品	10	飲食店	20	サービス	15	その他	20
業種構成 (うち会員)	最寄品	21	買回品	5	飲食店	13	サービス	10	その他	9

(平成19年 1月 5日現在)

課題

- ・ 会員の高齢化、後継者難により、組織の活力が低下し、イベント等の開催が困難となっていること。
- ・ 立地環境の特性上、チェーン店が多く、総じて商店街活動に消極的であるため、会員の拡大に繋がらないこと。
- ・ 秋田中央道路開通などの交通環境の変化に対応した取り組みが必要である。

基本方針(コンセプト)

他団体と連携し、近年大きく変化している交通環境に対応した取り組みを行い、賑わいのある商店街づくりに取り組みます。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業	・ 街路灯整備完了 ・ 電柱地中化、カラー舗装	・ 高齢者用休憩ベンチの設置について検討		
ソフト系事業	・ 夏まつり	・ 夏まつり等	・ 商店街マップ作成	
地域連携		・ 地域の行事に参加（運動会、敬老会など）	・ 通学路の安全づくりに参加	
組織強化		・ 青年部設置		
その他		・ 国体に協力（プラントナー設置など）		

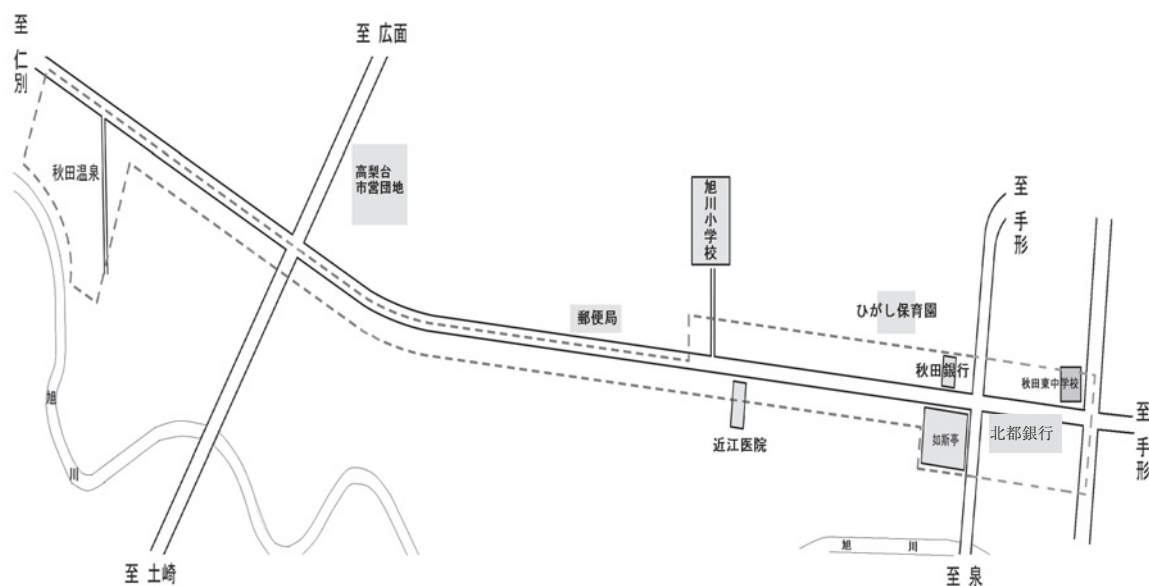
旭川地区商店会



周辺環境・街区状況

東中学校から秋田温泉までの直線約3kmに商店が点在しています。中心部のからみでん地区では、食料品スーパー、菓子・パン小売業、ガソリンスタンドなどが撤退し、人通りが少なくなっています。このため、最寄品店が減少しており、地域住民は、食料品を近隣の食料品スーパー等で買い求めている状況です。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	77	店舗	(うち組合員数		37店舗)					
業種構成	最寄品	18	買回品	10	飲食店	8	サービス	28	その他	13
業種構成 (うち会員)	最寄品	9	買回品	5	飲食店	3	サービス	9	その他	11

(平成 19 年 3 月 29 日現在)

課題

- ・食料品スーパーの撤退により、車を持たない高齢者などが買い物に困っていること。
- ・広範囲に店舗が点在している商店街であるため、共同売出しなどのイベント実施に不向きであること。
- ・廃業、後継者不足等により会員が減少し、会員の高齢化と相まって、組織の活力が低下していること。
- ・他の団体等の協力を得なければ、新しい事業を実施するのが難しい状況となっていること。
- ・近隣の大型店等との共同事業についての検討。

基本方針(コンセプト)

高齢者に優しい商店街づくりに努め、地域住民、各団体等に対して、地元商店の良さをアピールし商店街の利用を呼びかけ、新規顧客の開拓を行い、各店舗の売上向上を目指します。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業			・街路灯整備事業	
ソフト系事業	・秋まつり			
地域連携	・地元の各団体等との連携（イベント等）			
組織強化	・会員増強			
その他		・地元ＪＡとの共同事業の手法の検討	・如斯亭の活用	

桜・横森商工振興会

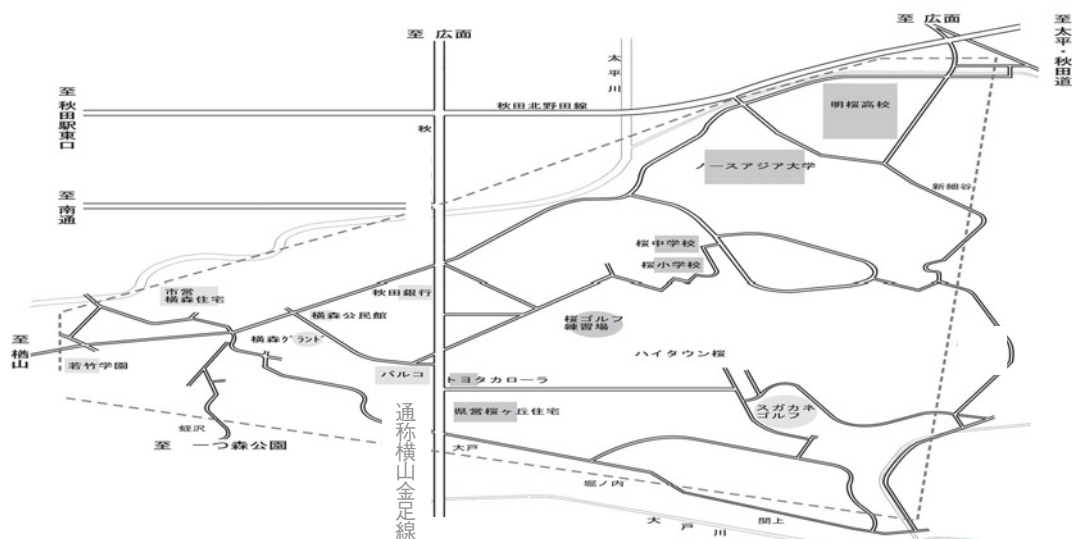


周辺環境・街区状況

横山金足線の交通量は多く、市内でも注目を集めている街区です。周辺商店街（大型店）の出店整備、入れ替え等、目まぐるしく変化しています。

15年ほど前には、60社ほどいた会員が、2006年には11社まで減少し、周辺のロードサイド店を中心とした活況とは逆に商工振興会の組織の衰退は進んでいます。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	－	店舗	(うち組合員数 23 店舗)						
業種構成	最寄品	－	買回品	－	飲食店	－	サービス	－	その他
業種構成 (うち会員)	最寄品	0	買回品	5	飲食店	3	サービス	2	その他 13

(平成18年 6月20日現在)

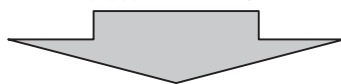
課題

- ・会として組織力を維持し、様々な事業を行うためには、会員の増加が不可欠のため、入会の動機付けとなる会員メリットの開発に向けた取り組みが必要です。

基本方針(コンセプト)

地元の子供達への支援を中心に、地域貢献を実感できる地域密着型事業の実施を通じて、会員の満足感(会員メリット)が得られるような取り組みを重点的に行います。これにより、会員増加に努めるとともに、「地域から愛され、喜ばれ、利用していただける事業者」を目指します。

具体的な方策



事業計画

種類/期間	実績 (H16~18年度)	前期 (H19~21年度)	中期 (H22~24年度)	後期 (H25~27年度)
ハード系事業				
ソフト系事業	・夏祭り実施体制の見直し	・地域商店街マップ作り 会員の宣伝と地域の特徴、学校、病院などとともに電話帳などものせ、全地域配布を目指す。		
地域連携	・地元学校や駅東竿燈会への支援	・こども天国構想 夏祭り事業を小、中学校に協力してもらい、こども達によるミニ模擬販売などを体験させ、商売のおもしろさ楽しさを体験させ、地元の商店を理解させる事業		
組織強化	・理事制導入による組織力運営の機動力アップ ・会員を増やすため会の活動内容をメールでPRする仲間づくりメールを実施			
その他		・会のエリアが広域になっているため、会の名称の変更を予定(地区の子供達から名称を募集)		

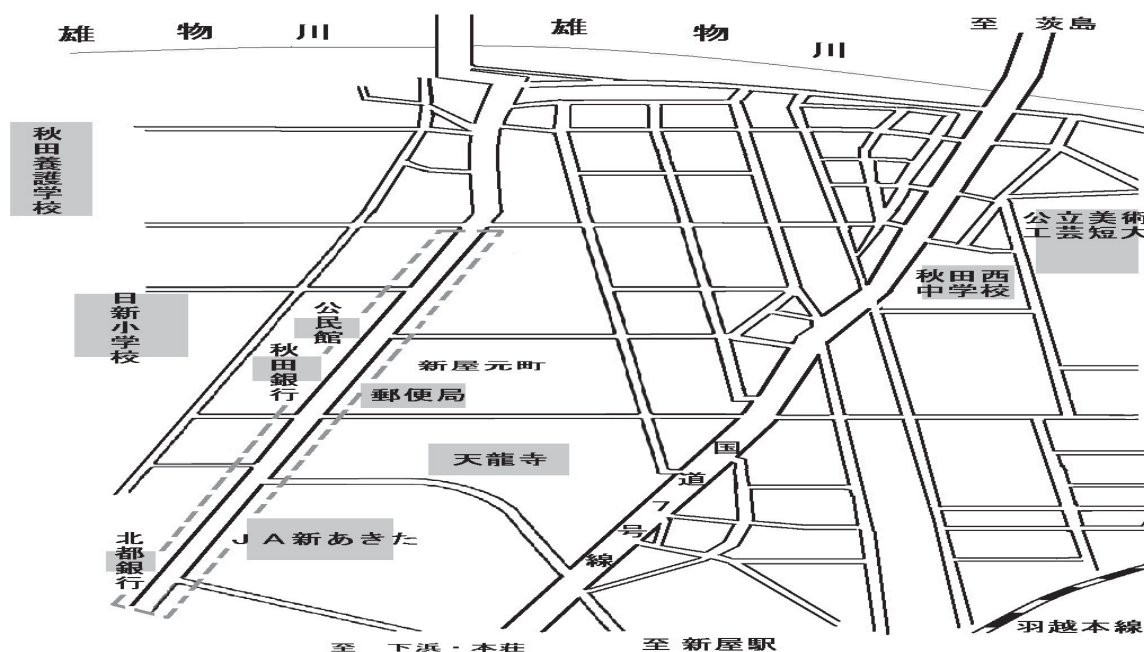
新屋商店会



周辺環境・街区状況

新屋地区は、西部地域の中心商業エリアでしたが、社会環境や立地環境、消費構造の変化などにより人や車の流れが変化した結果、食料品店などの最寄品店の減少や空き店舗、空き地の増加、かつての商店の宅地化などが進み、当時の賑わいが消えてしまいました。歴史的建造物が多く、伝統的な街並みや町屋が残っているのが特徴的です。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	41	店舗	(うち組合員数 14店舗)							
業種構成	最寄品	14	買回品	4	飲食店	2	サービス	6	その他	15
業種構成 (うち会員)	最寄品	8	買回品	1	飲食店	0	サービス	1	その他	4

(平成19年 3月 5日現在)

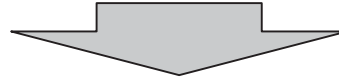
課題

- ・歴史的建造物などの新屋独自の強みを活かした街並みの統一。
- ・歩行者が安全に買い物できる商店街の環境整備。
- ・昔なじみの高齢の固定客に支えられているものの、新規客が少ないこと。
- ・経営者の高齢化と後継者難。
- ・車を持たない高齢者などの買い物における利便性の向上。

基本方針(コンセプト)

歴史、自然、文化など新屋独自の強みを活かして街並みの統一を図り、そのコンセプトに合った魅力のある店舗が集積するとともに、車を持たない高齢者にとっても便利で安全な買い物空間の整備に努め、地域の方々に親しまれる商店街を目指します。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業	・街路灯整備事業	・新屋景観まちづくり事業		・看板設置事業
ソフト系事業	・中元、歳末売り出し ・ももさだスタンプラリー事業	・新商品（お菓子）開発事業	・新屋駅前「チャレンジセール」事業	
地域連携	・美短との連携 ・地域団体との連携（家並みカレンダーの作成、佐竹36歌仙看板設置）	・ももさだ街なか文化教室 ・各種大会等への協力		
組織強化		・街路灯組合等街区内の組織の一本化について検討		
その他		・宅配事業の検討	・車両の通行止めによる各種イベントの実施の検討	・表町通のイメージづくりの手法について検討

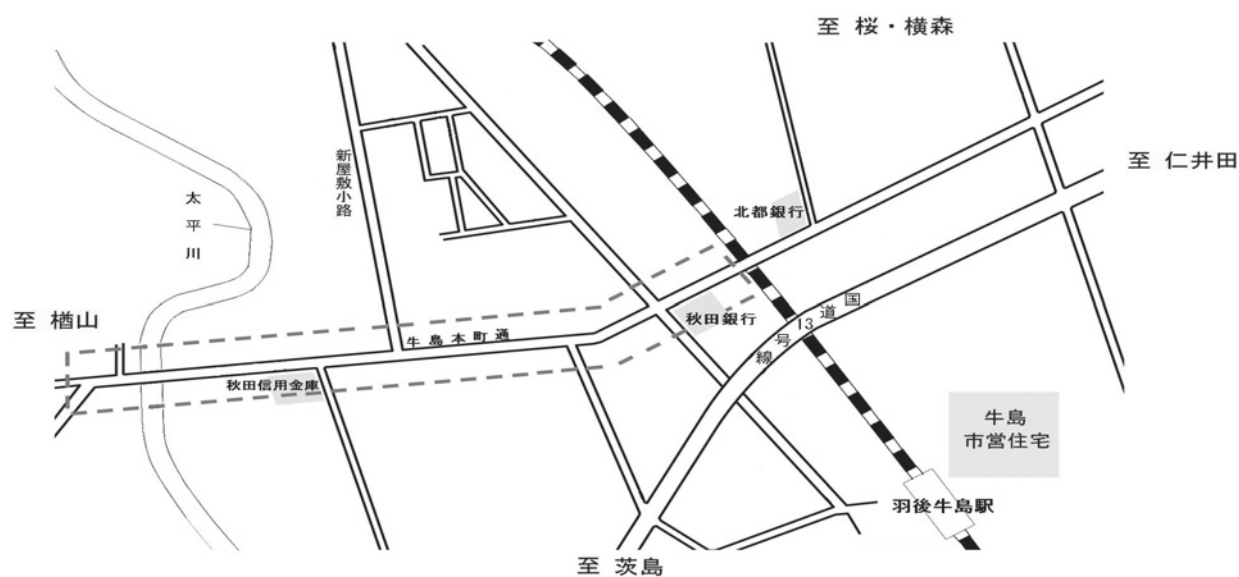
牛島商店会



周辺環境・街区状況

牛島本町通沿いに最寄品店を中心とした商業集積があり、銀行、郵便局、医院なども立地しています。街区内の通行量は年々減少しており、週末は多くの店舗・施設が休業しているためか、平日の約半分の通行量となっています。来街者の多くは、地域の高齢者であり、若者などの新規顧客は少なくなっています。後継者不足等により廃業する店舗も出ており、空き店舗が増加しています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	55	店舗	(うち組合員数 27 店舗)							
業種構成	最寄品	27	買回品	8	飲食店	8	サービス	5	その他	7
業種構成 (うち会員)	最寄品	12	買回品	5	飲食店	1	サービス	4	その他	5

(平成19年 3月31日現在)

課題

- ・高齢化社会に対応した店舗づくりに欠けていること。
- ・地域住民がふれあうことのできる場所が不足していること。
- ・若者のニーズにも対応できる店舗の誘致などによる不足業種の解消。
- ・後継者不足。

基本方針(コンセプト)

- 以下に取り組み、生き生きとしたふれあい豊かな商店街の実現を目指します。
- ・新たな商店街イメージの形成
 - ・にぎわい、ふれあいづくり
 - ・地域密着型商店街としての機能の強化
 - ・会員間の結束力の強化
 - ・個店の魅力向上
 - ・高齢者にやさしい商店街づくり

具体的な方策

事業計画

種類/期間	実績 (H16～18年度)	前期 (H19～21年度)	中期 (H22～24年度)	後期 (H25～27年度)
ハード系事業	・街路灯整備事業 ・ネオンアーチ(牛島商店街)整備事業	・街路灯全灯部品交換整備事業	・街路灯整備事業	
ソフト系事業	・サマーフェスティバルイン牛島の実施 ・歳末大売出し	・高齢者向けサービスについての検討 ・商店街シンボルマークの作成について検討		・高齢者向けサービスの実施
地域連携	〔・太平川観桜会事業への協力 ・牛島地区新春懇談会〕 ・牛島地区振興会との連携 ・地域各種団体総会等に出席 ・牛島地区敬老会に出席 ・新春婦人部同伴懇談会開催	・牛島地区振興会との連絡事項の打合せと連携 ・牛島地区敬老会でのサービス事業	〔・牛島地区振興会並びに地区各種団体との連絡と連携に努める ・牛島地区敬老会への協力〕	
組織強化		・会員増強と組織の強化	〔・各部会の組織強化 ・会員の増強〕	
その他	・小、中通学路、商店街路の横断の交通安全事業 ・朝の声かけ運動参加	・南高生の地区奉仕活動の援助 ・空き店舗等を活用した商店街が実施するワンストップショップの設置について検討		

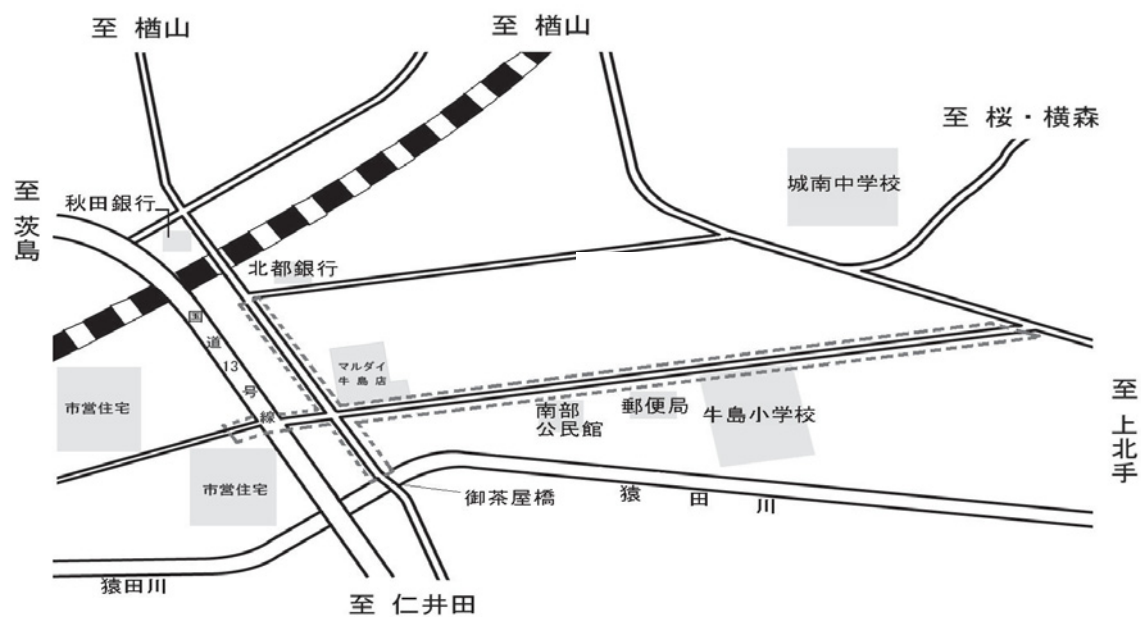
牛島商工振興会



周辺環境・街区状況

街区内の人口、通行量は減少し、高齢化が進んでいます。大型食料品スーパーを集客の核として、周辺に書店、薬局、飲食店などが立地しています。街区内のほとんどの店舗は、高齢者を中心とした昔からの馴染み客しか来店しない状況にあります。廃業などにより年々店舗が減少しています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	56	店舗	(うち組合員数 21 店舗)							
業種構成	最寄品	19	買回品	7	飲食店	10	サービス	17	その他	3
業種構成 (うち会員)	最寄品	9	買回品	3	飲食店	3	サービス	3	その他	3

(平成19年 4月 1日現在)

課題

- ・廃業等により年々店舗が減少しているため、商店の集積に欠けていること。
- ・会員の高齢化、後継者不足により組織としての活力が低下しているため、新たな企画の実施が困難となっていること。
- ・魅力ある店舗が少ないこと。

基本方針(コンセプト)

バリアフリー化や商品構成・サービスなど、ハード、ソフト両面において高齢化に対応していくとともに、お客様とのコミュニケーションを重視しながら、顧客ニーズに対応した取り組みにより魅力ある個店づくりを目指します。

具体的な方策

事業計画

種類/期間	実績 (H16～18年度)	前期 (H19～21年度)	中期 (H22～24年度)	後期 (H25～27年度)
ハード系事業	・プランター設置	・個店のバリアフリー化 ・街路灯整備		
ソフト系事業		・高齢者向けサービスについての検討（デリバリーサービスなど）	・高齢者向けサービスの実施（未定）	
地域連携	・グラントゴルフ大会の実施 ・クリーンアップに参加 ・地区内の各団体と連携			
組織強化	・会員増強	・婦人部の設置		
その他	・小学校安全パトロールへの参加			

街区を中心である国道 13 号線沿いに、食料品スーパー、飲食チェーン店、自動車販売会社、ガソリンスタンド等が立地しており、車で の 来 街 が 多 くな っ て い ます。か つ て 商 店 が 集 積 し て い た エ リ ア で は、廃 業 等 に よ り、店 舗 は 減 少 傾 向 に あ り ます。街 区 内、周 辺 地 域 に は、団 地 等 住 宅 地 が 隣 接 し て お り、人 口 は 年 々 増 加 し て い ます。

[illegible]

街区内 店舗数	105	店舗	(うち組合員数 28 店舗)							
業種構成	最寄品	12	買回品	17	飲食店	22	サービス	21	その他	33
業種構成 (うち会員)	最寄品	2	買回品	4	飲食店	4	サービス	2	その他	16

43

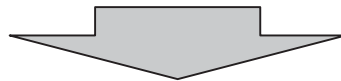
課題

- ・街区の範囲が広く、多種多様な業種構成となっているため、商店街としてのまとまりに欠けています。
- ・会員の高齢化、減少により組織の活力が低下しており、新企画の実施が困難となっています。

基本方針(コンセプト)

ふるさと夏祭りなどのイベントを通じて、会員間の連携や地域住民とのふれあい、つながりを保持し、商店街の活性化を図っていきます。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業			・街路灯整備事業	
ソフト系事業	・仁井田ふるさと夏祭り	・イベント事業（歌謡ショー等）		→
地域連携	・大住、牛島地区および町内会との連携強化（情報交換）			→
組織強化	・各種勉強会の実施			→
その他				

大住地区商工振興会

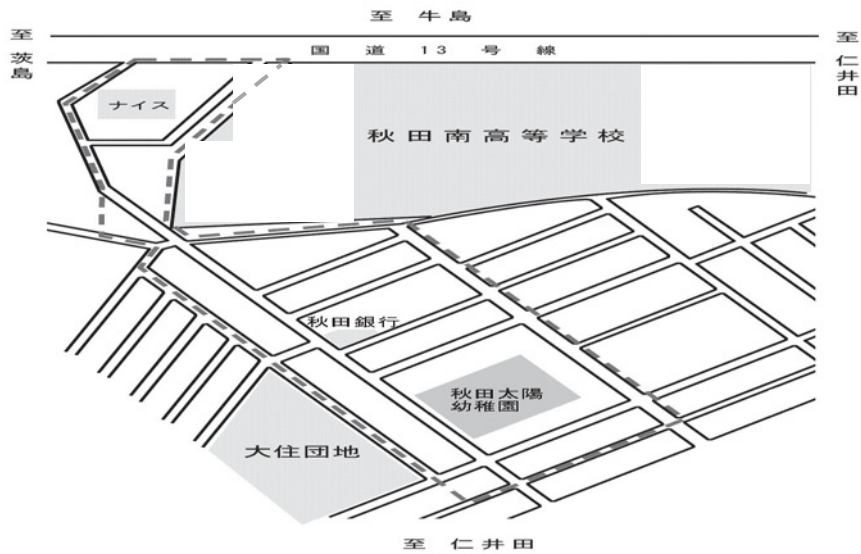


周辺環境・街区状況

街区のほとんどが昭和 40 年代に開発された「大住団地」であり、住宅の増加に伴い、商店、事業所などが自然発生的に立地した商店街です。現在、約 1 k m 続く目抜き通りには、食料品スーパー、銀行、郵便局、医院、美容院などが立地し、周辺には、高校や小学校があります。

昔からの住民の高齢化が進み、地区全体としても人口は減少傾向にありますが、公営住宅や公務員宿舎などの集合住宅があることで、人口減少に一定の歯止めがかかっていると思われます。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	47	店舗	(うち組合員数 46 店舗)							
業種構成	最寄品	8	買回品	11	飲食店	3	サービス	7	その他	18
業種構成 (うち会員)	最寄品	8	買回品	11	飲食店	3	サービス	7	その他	17

(平成 1 8 年 7 月 3 1 日現在)

課題

- ・目抜き通りの歩行者等の安全確保。
- ・イベント等により、地域住民との連携を更に深める必要がある。
- ・会員の高齢化、後継者難。
- ・新規会員勧誘。
- ・新規顧客の開拓（特に近隣住民）。

基本方針(コンセプト)

地域住民へ会員店舗の周知を図るとともに、花のある商店街づくりをしていきます。

具体的な方策

事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業	・街路灯維持管理			
ソフト系事業	・大住フェスティバルの開催（夏まつり）	・フラワーポット（プランター）の設置	・商店街マップの作成	
地域連携				
組織強化	・後継者を対象とした勉強会の開催	〔・若手育成 ・新規加入促進〕		
その他		・街路灯に年3回造花飾付 ・空き店舗対策		
交通安全協会と連携して商店街道路の安全通行に努める				

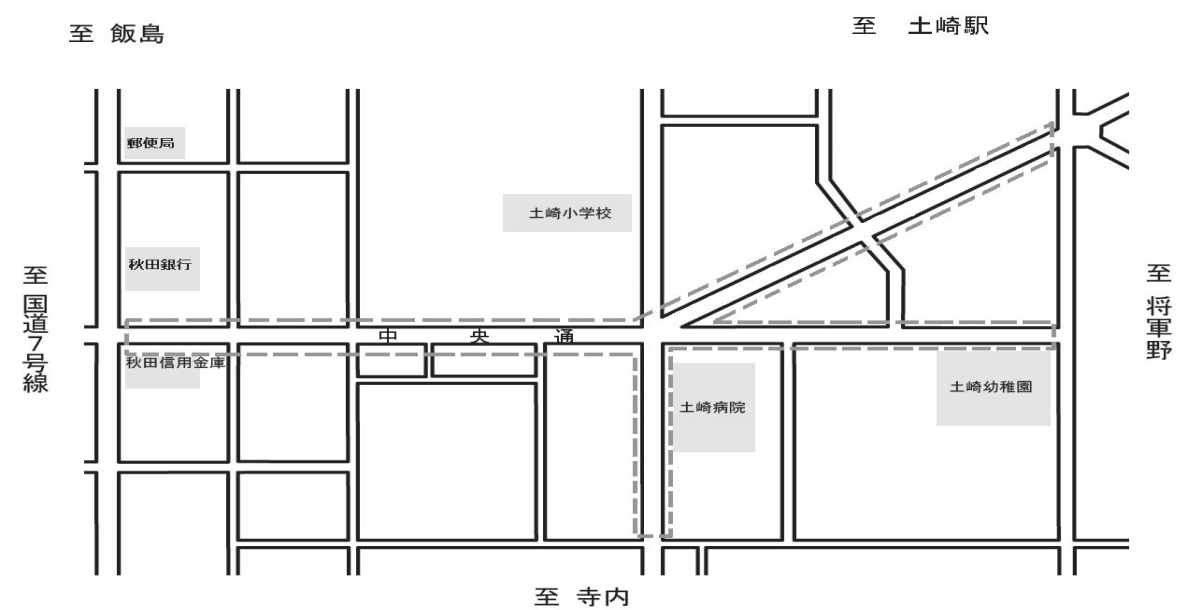
土崎港中央通り商店会



周辺環境・街区状況

街区は、中央通五叉路を中心に東西約 500mで、食料品などの最寄品店や衣料品などの買回品店、飲食店などが立地しています。廃業等による空き店舗の発生や一般住宅化などにより連担性に欠け、街区内の通行量は平成 17 年の調査までは減少傾向にありましたが、平成 19 年 4 月に街区内に大型食料品スーパーが開店したことから、人の流れに変化がみられます。商業施設以外では、金融機関、病院、小学校などがあるため、登下校の小学生や通院のお年寄りが多く通行します。また、寺社が多数立地しているのがこのエリアの特徴です。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	59	店舗	(うち組合員数 38 店舗)							
業種構成	最寄品	11	買回品	18	飲食店	9	サービス	18	その他	3
業種構成 (うち会員)	最寄品	9	買回品	15	飲食店	5	サービス	8	その他	1

(平成19年 4月 1日現在)

課題

- ・店主の高齢化、後継者難による商店会の活力低下。
- ・廃業による空き店舗の増加、店舗の一般住宅化により、商店の連担性に欠けていること。
- ・駐車場不足。
- ・周辺の交通環境の変化により大型自動車の通行量が増加しているため、歩行者の安全に配慮した取り組みが必要となっていること。
- ・大型店と連携した取り組み（イベント等）。

基本方針(コンセプト)

ロードサイドの総合スーパー等とは違う特色を持つ個性豊かな専門店が集積するとともに、地域コミュニティの核としての役割も果たす商店街づくりを目指します。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業	・街路灯の整備	・来街者の休憩場所（ベンチ等）の設置を検討		・商店街のバリアフリー化
ソフト系事業	・港まつり、歳末大売出し ・商店街ホームページの運営 ・オリジナルTシャツの販売 ・商店会フラッグの作成	・商店街マップの作成	・高齢者向けサービスの内容を検討	・高齢者向けサービスの実施
地域連携	・歩道の除雪 ・小、中学校と連携した児童、生徒の安心安全確保に対する取り組み			
組織強化	・会員増強	・大型食料品スーパーとの連携		
その他		・交通安全に配慮した商店街づくりについての研究		

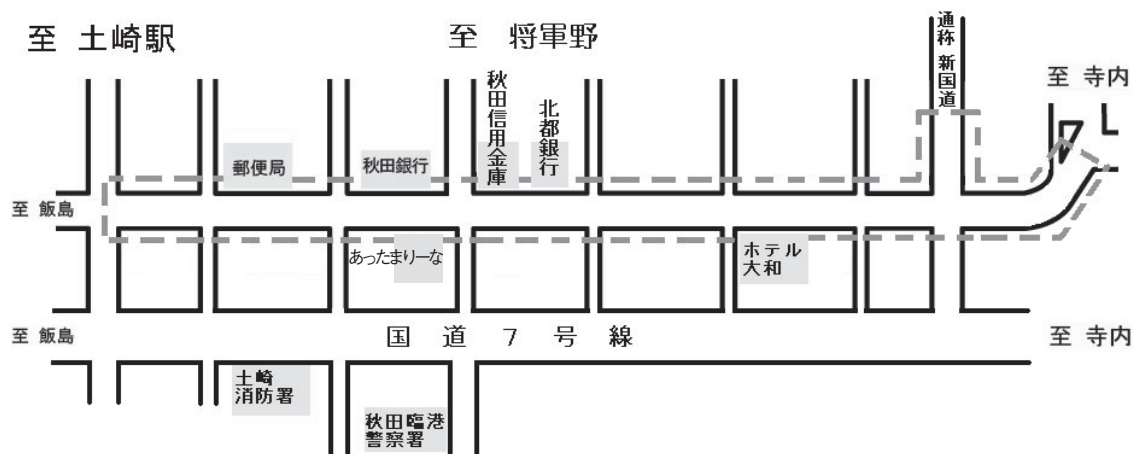
土崎港元町商店会



周辺環境・街区状況

国道7号線と通称新国道、J R奥羽線とに挟まれたエリアに位置し、7号線沿いには支所、警察、消防署といった公共施設とロードサイド店が、エリア中央には銀行、郵便局、温泉施設、病院、学校、図書館など娯楽、公共、文教施設が立地しています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	81	店舗	(うち組合員数 28店舗)							
業種構成	最寄品	11	買回品	24	飲食店	18	サービス	15	その他	13
業種構成 (うち会員)	最寄品	5	買回品	8	飲食店	4	サービス	8	その他	3

(平成19年 2月28日現在)

課題

- ・都市部では市内でも有数の高齢者比率の高い地域となっている。
- ・間口が狭く、奥行きが長い特殊な宅地形状のため住宅・店舗の建替難。
- ・経営者の高齢化が進み、後継者が不足している。
- ・店舗と住宅が同一で空き店舗からの展開がしにくい。

基本方針(コンセプト)

高齢消費者への対応を強化し、買い物しやすい安全で快適な空間創り
インターネットによる通販事業で新規顧客の獲得と若者ニーズの掘起こし
地区内の集客施設との連携を図り回遊性をねらった企画の実施

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業	・高齢者ベンチ（ねまるベンチ）の設置	・高齢者ベンチ（ねまるベンチ）の拡充	・防犯カメラの設置に向けた調査研究	→
ソフト系事業		・ホームページ作成講習会の実施 ・ネットショッピングが可能なホームページの作成 ・フラワープランター統一設置	・統一電飾 ・ミニかまくら設置	
地域連携	・地域参加型イベントの強化	・地域保育園、小学校イベントへの協力	・中高生向販売体験学習の協力	・空き店舗を活用したフリーマーケット用スペース確保
組織強化		・入会メリットの明確化を図り、会員の増強を図る	↑ ↓	・集客力のある新店舗の誘致
その他				

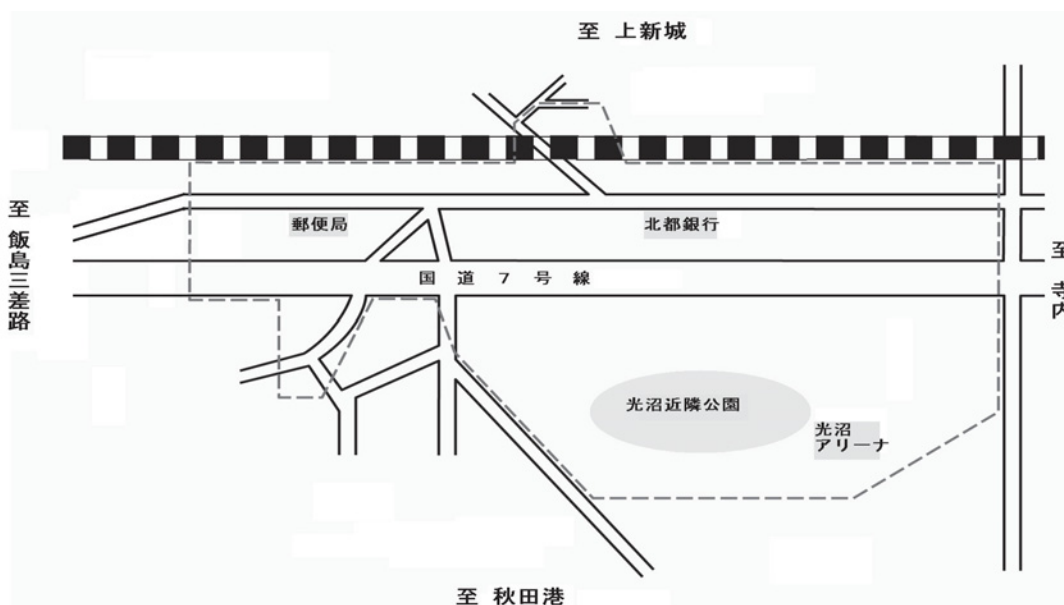
土崎港北商店会



周辺環境・街区状況

市街住宅地を背景にもっている地域で、国道 7 号線と東側の旧国道に沿って、南北に商店街があります。7 号線沿道の店舗はスーパー、飲食店、ゲームセンターなどが集中しており、集客力がありますが、旧国道沿道は、2、3 店ずつ店舗が散在しています。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	45	店舗	(うち組合員数 24店舗)							
業種構成	最寄品	9	買回品	5	飲食店	6	サービス	5	その他	20
業種構成 (うち会員)	最寄品	4	買回品	3	飲食店	1	サービス	5	その他	11

(平成 19 年 2 月 28 日現在)

課題

- ・商店会会員の高齢化と後継者不足。また、若い会員が少なく組織としての活力が低下。
- ・新しい事業実施のための他の地区や団体等との協力体制の確立。
- ・7号線沿いの量販店やスーパーなどと旧国道沿いの店舗との共同した取り組みが困難。

基本方針(コンセプト)

個店レベルで店づくり、商品構成を充実させ、細やかなサービスでお客様とのふれあいを大切にします。

イベントなどを通じて、他団体、近隣の地域とも連携をとりながら、地域に密着した商店会活動を行っていきます。

具体的な方策



事業計画

種類/期間	実績 (H16～18年度)	前期 (H19～21年度)	中期 (H22～24年度)	後期 (H25～27年度)
ハード系事業	・街路灯整備事業			
ソフト系事業	・新商品「ひしの実めん」の開発 ・ふれあい相染まつりイベント事業	・「ひしの実めん」の販売促進、強化 ・新規イベントの模索	・新商品の開発検討 ・イベントの実施	
地域連携		・近隣地区との合同イベントの検討		
組織強化		・会員勧誘、増強 ・会員間の親睦強化	・地区の大型店等との連携	
その他				

飯島商工振興会

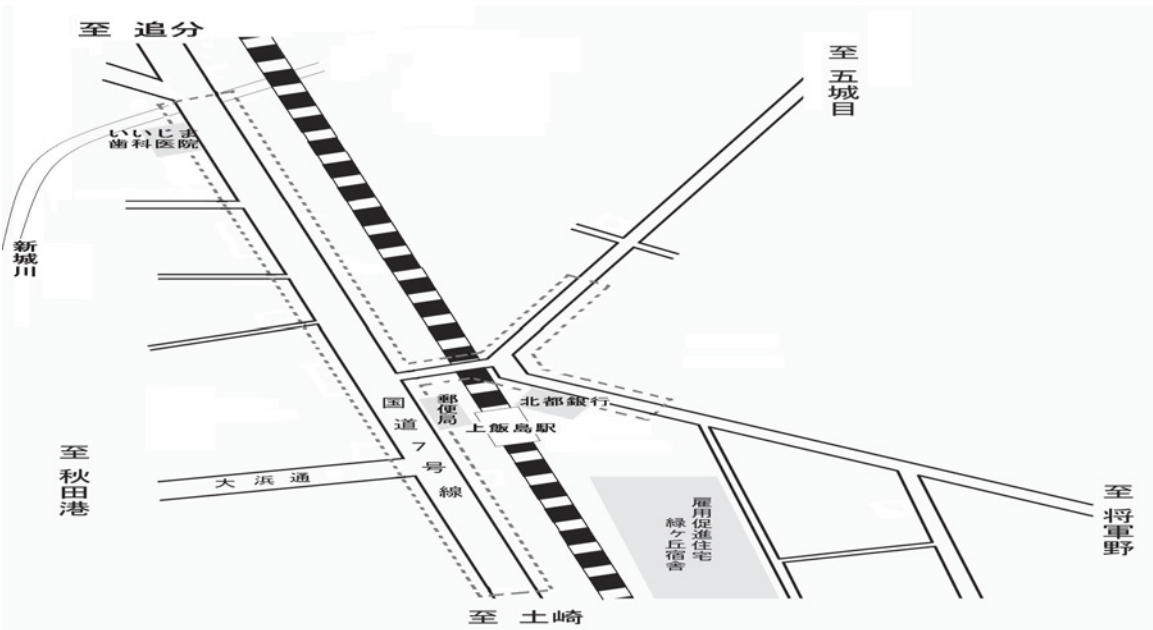


周辺環境・街区状況

周辺は住宅地で、街区の中心である国道7号線沿いには、飲食店、サービス業などのロードサイド店が多く立地しており、車ででの来街が中心となっています。街区には、J R上飯島駅もあることから、交通の便は良いといえます。

店舗数は年々減少しており、現在最寄品店はほとんどありません。そのため、徒歩圏内に日常の買い物をする店舗がないというエリアもあります。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	50	店舗	(うち組合員数 25店舗)							
業種構成	最寄品	3	買回品	7	飲食店	18	サービス	14	その他	8
業種構成 (うち会員)	最寄品	0	買回品	4	飲食店	6	サービス	9	その他	6

(平成19年 2月 1日現在)

課題

- ・食料品スーパーなどの不足業種の解消や地域ニーズに対応した業種の構成。
- ・国道7号線が商店街を分断し、回遊性に乏しくなっていること。
- ・会員の高齢化、会員減少などで各種事業等の取り組みが困難となっていること。

基本方針(コンセプト)

会員間および他団体と協力しながら各種事業に取り組み、地域に根ざした商店街づくりを行います。

また、かつては海運で栄えた港町であり、土崎港にも近いことから、港町商店街としてのイメージづくりにも挑戦したい。

具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業			・街路灯整備事業	
ソフト系事業	・商店街憩いの場提供事業（空き店舗対策事業） ※商店街直営 ・飯島夏祭り盆踊り大会			→
地域連携		・港町商店街のイメージづくりのための近隣地域との連携、交流		→
組織強化		・会員増強のため、非会員店へ事業参加を促す	・地域の大企業の加入を目指す	・会員100人（大企業も含む）を実現させる ・様々な取り組みを実施するための組織のあり方について検討していく
その他		・港町ロシアムード商店街のイメージづくりに関する研究		

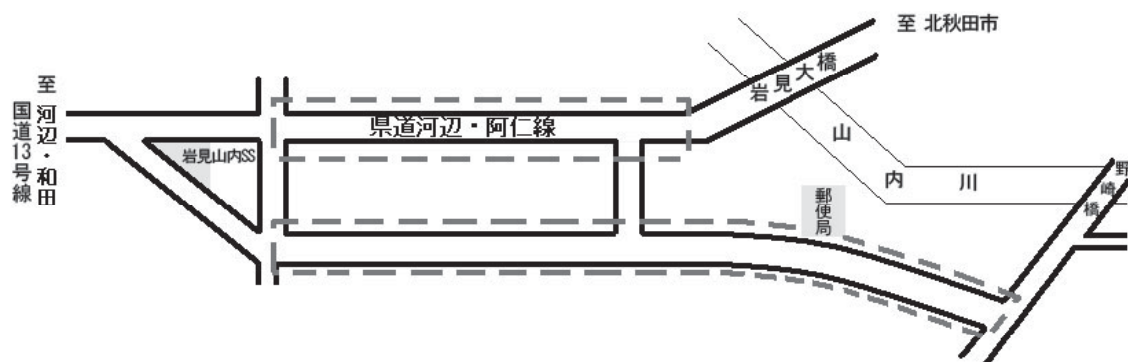
柳町商店会



周辺環境・街区状況

最寄品店や飲食店のほか、農協、郵便局、クリニック、保育所等があり、平日は人通りも多いですが、土曜日・日曜日は人出が少なくなっています。また、街区には温泉施設もあり地区外からの利用者もあります。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	25	店舗	(うち組合員数 9 店舗)							
業種構成	最寄品	12	買回品	0	飲食店	3	サービス	4	その他	6
業種構成 (うち会員)	最寄品	8	買回品	0	飲食店	1	サービス	0	その他	0

(平成19年 4月 1日現在)

課題

- ・近郊の商店、スーパーに出かける人が多く利用客が減少。
- ・組合員の高齢化、後継者難と組合員の減少。
- ・高齢者の固定客はいるが、若い人の利用が少ない。

基本方針(コンセプト)

お客様、特に増加する高齢者に向けたサービスの充実に努めて、さまざまな形で地域に貢献できる商店会、街づくりに取り組んでいきます。

具体的な方策



事業計画

種類/期間	実績 (H16～18年度)	前期 (H19～21年度)	中期 (H22～24年度)	後期 (H25～27年度)
ハード系事業	・街路灯整備事業 (支柱のペンキ塗り)	・街路灯、防犯灯の点検、修理	・街路灯整備(改修)事業	
ソフト系事業	・夏祭り(夜店)	・イベント事業 柳町商店会40周年記念としての夏祭り夜店を開催(H19)	〔・夜店の実施 ・高齢者向けサービスの実施検討〕	→
地域連携		・定期的な大特売実施	・共同スーパー事業の検討 ・花いっぱい運動への協力	→
組織強化		・組合員の増強(勧誘)	→	
その他				

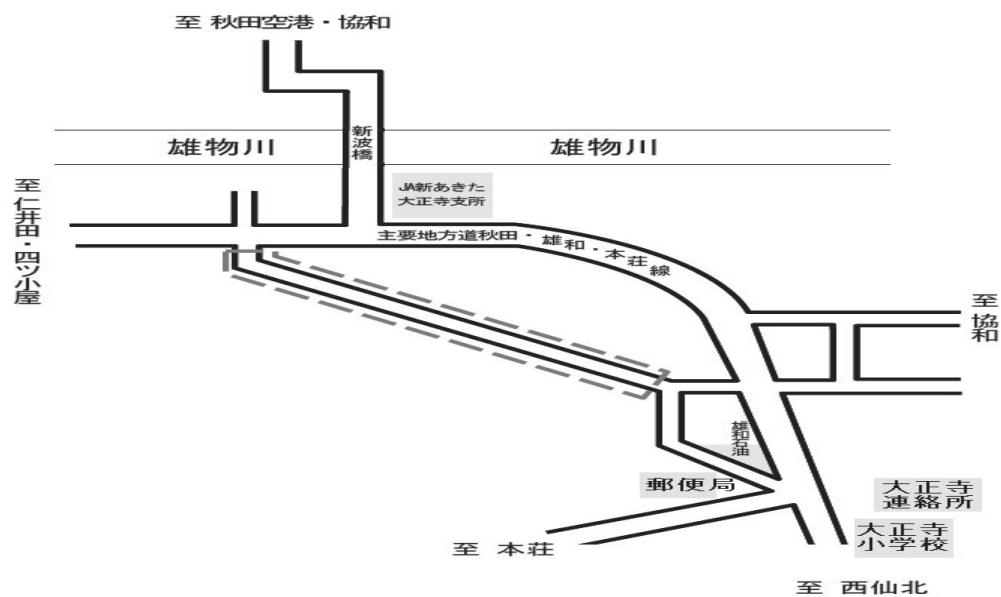
雄和新波商店会



周辺環境・街区状況

大正寺おけさまつりの会場となっている街区には、食料品スーパーなどの最寄品店や婦人衣料品店、飲食店、美容院、医院などが立地しており、近隣地域には、温泉などの観光施設や市の連絡所もあります。

商店街地図



業種構成

街区内 店舗数	56	店舗	(うち組合員数 24店舗)							
業種構成	最寄品	8	買回品	5	飲食店	4	サービス	6	その他	33
業種構成 (うち会員)	最寄品	6	買回品	3	飲食店	1	サービス	3	その他	11

(平成19年 4月 1日現在)

課題

- ・ 会員の高齢化と後継者不足による店主のモチベーションの低下などにより、商店街に活気がなくなってきていること。
- ・ 街区内の食料品スーパーから、大売出し抽選会などのイベントに協力してもらうこと。
- ・ 大正寺おけさままつり、温泉、のどかな風景など地域の特色を活かした取り組みを行うこと。

基本方針(コンセプト)

地域住民にとって欠かせない商店街であり続けるとともに、地域の特色を活かした取り組みにより、おけさの郷として、観光の観点からも魅力がある、来街者が「ホッとす」ような空間の商店街となるよう努力していきます。

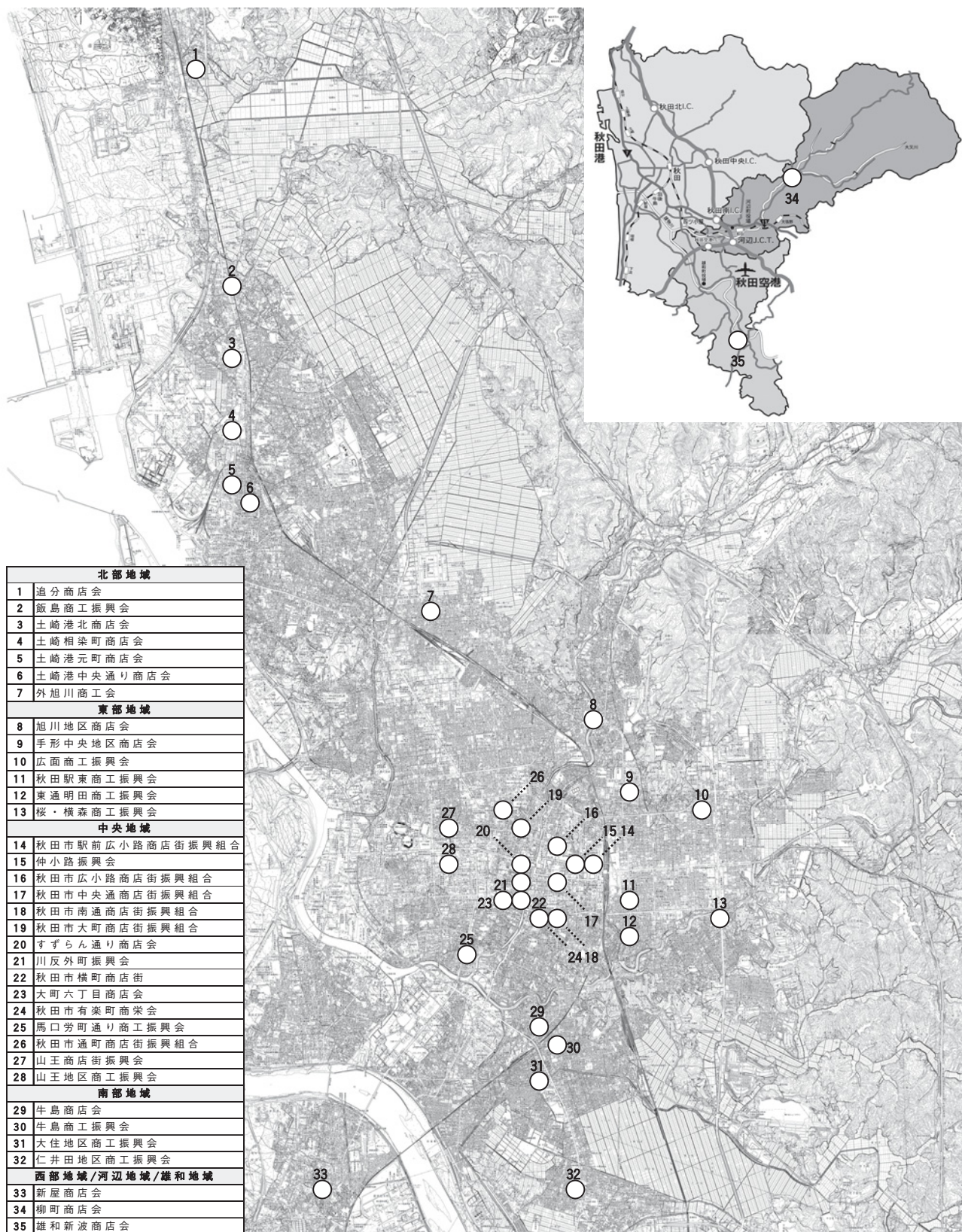
具体的な方策



事業計画

種類／期間	実績（H16～18年度）	前期（H19～21年度）	中期（H22～24年度）	後期（H25～27年度）
ハード系事業		・ 各種事業に活用しているスピーカー等の修理、交換等		
ソフト系事業	・ 商店街オリジナル商品開発事業（Tシャツ）	（・ 中元売出し ・ 歳末大売出し抽選会の時に行う各種イベント（餅つき、アイスクリームの提供等）		→
地域連携	・ 町内会、子ども会、老人クラブなど地域の各団体との連携			→
組織強化				
その他		・ 商店街オリジナル商品の開発についての検討		

商店街分布図



<資料編>

<資料編>

1 秋田市商業振興ビジョン策定委員会、専門部会委員名簿

秋田市商業振興ビジョン策定委員会

<順不同、敬称略>

区 分	氏 名	所属団体	役職等
消費者	土田 正	秋田市老人クラブ連合会	常務理事事務局長
	千葉 陽子	秋田市消費者協会	会員
学識経験者	鈴木 彪四郎	秋田市民生児童委員協議会	会長
商業団体	一ノ関 勝義	秋田市商店街連盟	会長
	青山 鈞	秋田商工会議所	専務理事
	畠山 千萬城	河辺雄和商工会	事務局長
経営者	齋藤 一郎	株式会社ナイス	代表取締役社長
	川村 忠	協同組合秋田市民市場	理事長
行政	関根 浩一	秋田県産業経済労働部商工業振興課商業貿易室	室長
	中澤 篤志	秋田市都市整備部	部長
	小国 裕実	秋田市商工部	部長

秋田市商業振興ビジョン専門部会

区 分	氏 名	所属団体	役職等
商店街	平澤 孝夫	秋田市駅前広小路商店街振興組合	理事長
	最上 真	土崎港元町商店会	会長
	伊藤 専司	大住地区商工振興会	副会長
	齊藤 育雄	川反外町振興会	代表幹事
商業団体	井上 仁	秋田商工会議所	商業振興課長
	岡部 守	河辺雄和商工会	経営部長
行政	田口 光宏	秋田市商工部	商業観光課長

事務局

田口 光宏	秋田市商工部商業観光課長
福田 徳行	〃 商業観光課課長補佐
山田 深幸	〃 商業観光課商業政策担当主席主査
原田 浩	〃 商業観光課商業政策担当主査
佐々木 克也	〃 商業観光課商業政策担当主事

2 秋田市商業振興ビジョン(商店街個別計画編) 策定経過

年月日	策定委員会	専門部会	調査等
平成18年 5月			商店街予備調査
11月			商店街実態調査 商店街説明会(29日)
平成19年 4月 ～5月			商店街ヒアリング
6月		第3回部会(6日)	
7月	第3回委員会(13日)		

注 秋田市商業振興ビジョン(本編)の策定にあたり、策定委員会を平成18年12月と平成19年3月に、専門部会を平成19年1月、2月に、それぞれ開催しています。

3 商店街ヒアリングの概要について

商店街ヒアリングは、商店街個別計画を作成することとなった27商店街を対象に、事務局職員が各商店街に出向き、実施しました。

(1) 目的

商店街の現状および課題、将来的方向性に対する意向（事業計画等）を十分に把握し、助言等を行うことで、商店街自らが作成する商店街個別計画の実効性を高めること。

(2) 実施期間

平成19年4月16日（月）～平成19年5月9日（水）

(3) 対象商店街

秋田市広小路商店街振興組合ほか26商店街

(4) 実施内容

事務局職員が各商店街の事務所等に出向き、事前に各商店街が作成した商店街個別計画シートを基に、商店街の現状、課題、事業計画等について、ヒアリングを実施。

（参考）個別の商店街からの意見等（全商店街の総意ではない。）

- ・△△商工振興会など、会員構成として、小売・サービス業だけではなく、工業・建設業の占める割合が大きい団体においては、共通メリットを見いだすのが難しく、例えば、イベントを実施したくとも、協力してくれない会員が多く、一体的な取り組みができないなど、商店街活動がしにくい状況である。
- ・商店街活動を行う人材が不足しており、また、財政的にも厳しい状況にあることから、各種事業を行う体力がなく、唯一実施している夏まつりなどの年1回のイベントを継続することで精一杯である。
- ・会員増強を図りたいが、会員加入による具体的メリットを提示できない。
- ・隣接する商店街と連携してイベントを実施するなど、広域的な視点からの取り組みも重要と考えるが、商店街ごとに計画を立てることで、そのような視点が欠けてしまうのではないか。

秋田市商業振興ビジョン(商店街個別計画編)

平成19年 7 月 発行

編集・発行◎秋田市

〒010-8560 秋田市山王一丁目 1 番 1 号

TEL 018-866-2429